

**生意氣ナツキはナツキに勝ちたい**  
どつちが本物？ 手マンで確認→どつちもすぐイク雑魚ま〇二（怒）  
夢の中でも勝手にいつちやう弱くて強氣なボーイッシュ×2

2022/10

同人音声サークル『ライオクライオ』

」の台本データは初稿バージョンです。実際の音声と異なる箇所が「ぞいます。ト書きはほぼそのままでですが、特殊文字や一部ワードは公開用に省いています。

op. 『ねやみ…♪』

夜。ナツキの部屋。

主人公、先にベッドに寝転がつてのんびり。

ナツキ、ベッド前のテーブルで肌のお手入れ。

ゆるーく、生々しい雰囲気を意識。

《◆正面やや右/50cm》

ナツキ1 「……（大きいあくび）……」

早くねよー。

ナツキ2 「んーもうかよこまつてー」

（かいつと主人公を見て、また鏡を見る）

「（笑）じつと睨んなよー♪」

「お前も化粧水くらい付けりゃいいじゃん」

「そー。普段の手入れがー、大事なんだぜーって  
（微笑む）」

ナシキ、スキンケアしながら質問。

「あ、明日や……すいと隊へ。」

ナシキ7 「（意味深）…………おいたー、分かってたあ～」

「いや、やしながら乳液べちべち。

ナシキ8 「くわくわ……♪」

（おひのと主人公を見て、また鏡を見る）

ナシキ9 「えへへ、鏡にへへ、くわ～」

（片づけの動作）

ナシキ10 「ハハハ、終わりー。終わり終わり」

ナシキ、立か上がりでしゃべる。

《◆両耳/30cm <立って歩く動きを挟んで移動>》

ナシキ11 「ん、はあ……もつたせつたなー、ねよねよね」

《◆右襟ぬ前/30cm 主人公を押すもの》

ナシキ12 「んー、わーいもう奥に行かうの～」

『あらかねじくシジの奥く押される主人公。

《◆右耳/30cm やいと添ふ裏》

ナシキ13 「わーいもうー」

ナシキ14 「いー」と、たゞぐしじだかみへ もいへ

《◆右耳/10cm やいと添ふ裏》

「ふ……や……邪魔じやねえじゃ……♪」

《◆右耳/0cm》 右翼へ。

「……蟲いたでも、文句いつながー。」

添い寝。呼吸を落ち着かせて。

静かなムードで、ちょいと小話。

【（）から、囁きの軽いの優しい帳】

ナシキ 17 「……（）」  
ナシキ 18 「……なーあ」

ナシキ 19 「畠田、やうじこさんむわ」

ナシキ 20 「こ いきごころへ・」

ナシキ 21 「ハス」

ナシキ 22 「……え？ 朝か、ひ〜。」

ナシキ 23 「（笑） こ、うの〜。」

ナシキ 24 「アタシ『冗談通じねバカラ』」

ナシキ 25 「朝ひつたな〜。」

ナシキ 26 「せこ決定へ あはせへ」

【（）がや優しい帳】

「」から、ベッドからの起きたる→キッチンへ→冷蔵庫で精力剤を取る  
→ベッドに戻るの一連の動作。

演劇な動きなのだが、霧岡坂が命つていれば多少アレンジしてもOKだ。衣擦れもOK。

ナシキ、何かを思い出し「うん」と飛び起きたる。

《戻り/150cmの間に冷蔵庫があるのをイメージして、まずは奥を見て起きたる動作》

「あ、そだんだやだー。」

《振り返って、待つて待つてのハンドサイン》

「わよわよわよこまつてー！」

キラキラ。

《戻り/150cmく装ふてー》

「眠ったの忘れてたー。」

《冷蔵庫を開けてガサ」「。瓶の音。》

《少しかがんで冷蔵庫を物色》

「ルーハンねー……（微笑む）」

「リンク瓶を一本持つてベッドに戻る。

《戻り30cmく装ふてー》

「」れ何か専らねー。そつなか流れていたるやい」

（渡す動き）

「せー、一本ルーハン」

「寝る前に飲むと、おつかやすみ眠れるー……

飲んだ次の日は、朝からドクドクの頭痛だ。

「ふー、やー。」

ナシキ 32

ナシキ 33

「寝る前に飲むと、おつかやすみ眠れるー……

パキッヒタを開ける。

《手元を見て、フタを開ける動き》

ナシキ 34  
「んい、はあ」

《主人公を見ぬ》

ナシキ 35  
「（笑） セーラー服一派。 口漫画に由来する媚薬  
ついに呑んでんだよなあ。 マナリ興味深々だった。  
あせせ～」

ナシキ 36  
「ビリ行つても壳り切れどやー」

「可愛い」まかし方。

ナシキ 37  
「あ、じゃなく、薬局でなんか、見つけた。うん。  
たまたま。やけ。たまたま」

ナシキ 38  
「せせ、そんな、探しにたみてえな、あるわせねえ  
じゃえ。（小瓶） せか～」

ナシキ 39  
「じこから～、飲んで寝るわ～。」

（少し近づいて乾杯の動き）

ナシキ 40  
「せこ、乾杯ー。」

（戻つて飲む）

ナシキ 41  
「んく、んく、んく……あ～」

「ハニ」

ナシキ 42  
「米穀類」

ナシキ 43  
「おのわや米穀類」

だね。

ナシキ 45  
「なー」

「こ」からまた、先ほどのようにキッチャンを往復する一連の動作。

《キッチャンに行こう♪と聞くへ向へ》

ナツキ 46 「ま、明日が楽しみだなあ、ふふふ」

《振り返つて瓶をもひつ》

ナツキ 47 「あ、ちょうどいい? 捨てる」

ナツキ 48 「フタも」

ナツキ 49 「えい」

《正面やや好/150cm キッチャンく歩く》

ナツキ 50 「……んー。ここはお金とか」

ナツキ 51 「こつむ櫛(ハトムツ)もひつねー」

《キッチャンからひよ」ひと顔を丑(うし)、

上手(じょうし)にひいた感じのナツキ》

ナツキ 52 「へへ、丑(うし)もんせ、他にあるだら、あはは」

でれつでれ。

《恥ずかしくなつて顔を背ける》

ナツキ 53 「あー、つれこつれこへ もー、」

《主人公を見ゆ》

ナツキ 54 「……櫛(ハトムツ)もひつねー」

《壁(いのて)を見る》

ナツキ 55 「せー、」

黙もつ。

ナツキ、電気を消してベッドに移動。

《◆キッシュンから 右耳/30cm <、歩いて戻る》

ナツキ 56 「……（まだあぐら）……」

また主人公をぐるぐる興しながら隣に寝る。

《◆右耳/10cm ぐるぐる近づく》

ナツキ 57 「だー、わー、わー、奥行立ー、ねむいー、…」

《◆右耳/0cm ハグハグ密着》

ナツキ 58 「ん、はあ、んー、すー、はあ♪」

ナツキ、主人公の肩をとんとん。

おやすみのキスのおねだり。

ナツキ 59 「……んつ」

してられない。

ナツキ 60 「んー、」

もうひとふとん呑いておねだり。

ナツキ 61 「んー、」

察した主人公、ナツキと向かい合つ。

《◆正面/0cm <、優しいキス。静かな会話》

ナツキ 62 「（微笑む） ふ……ちゅ、ちゅう、ちゅ、」

ナツキ 63 「わいわ飲んだのわ……なんか、エッチな夢、

見る、見る、」

ナツキ 64 「わー。H口おこ気分にならひたわ」

ナツキ 65 「うそ」

#スケベるとすぐおねだりしていく。

ナシキ 66 「……んへ、も「ちゅ」とチュー」

ナシキ 67 「わわわ、ん、わわわ、くくわ、んちゅわ」

ナシキ 68 「どーする?.. 夢にもアタシが出てきたり」

ナシキ 69 「えへへ?.. アタシが一人?.. (笑) やべえなそれ。

自分回士で喧嘩してやー」

ナシキ 70 「あぐわ、一人がかうなり、お前に勝てだりしてな」

ナシキ 71 「んーちゅわ」

ナシキ 72 「現実じや勝てねえ分、夢と戻り、口チンパンにして  
ちゅつかへ、ふふふ」

ナシキ 73 「アタシに負かされて、夢精とかすんなよー..

」のサウチャンポンへ、くくへ、んちゅわ」

井上公にとろけるキスで責められる。

【二】かの舌を絡ませながら喋る】

ナシキ 74 「ん、れる、んんへ、ちゅ、んん?.. れるちゅ待って,  
んちゅ、ストップへ」

ナシキ 75 「れる、も、ねやすみのチュー、いこからあ」

ナシキ 76 「れれるれる、ちゅわへ、はーへ、じじわわわへ。  
(笑) ねやすみじやなくなるつのへ、れぬちゅわ  
れれるれるれる、んぐへ」

《◆キスから脱出→右耳/0cm 横へ》

ナシキ 77 「んへ、ちゅわへ、はあはあへ」

ナシキ 78 「もつ寝るー.. あんますいと、もつ....

(囁き) 無理だからあ.....はあ.....つーと、寝みつ..」

ナシキ 79

「…………あと、腕枕がいこ～」

ナシキ、腕枕してもいい。

ナシキ 80

「…………くく～、ねやすみ～、畠田じいぜ～しょ～」

明らかにもう興奮してこの壯態を露わす。

ナシキ 81

「すー、はあ……ん、はあ……ふ、はあ……

すー、はあ……♪」

(フヒーディアウト)

(op\_END 1210枚目)

## 1-1 ナツキが一人…?

★「」から「人役」です。

金繩通して、色田ナツキは左側、田焼けナツキは右側がメインポジション。  
一人まとめで《糸ぬ前/20cm》と書くことがありますが、

色田ナツキの時は左側、田焼けナツキは右側として対応してください。

ふわふわと夢の中。大きいベッドのある部屋。

だんだんと声が聴こえてくる。



一人のナツキが寝癖をしつづける。

《糸ぬ前/30cm 四角い枕の寝癖》

「だから、アタシが本物だつてー。」

田焼け 83 「さあ… アタシだらー。」

色田 84 「眠つきし田焼けしてどうやねーかよー。」

田焼け 85 「わうーかよー。」

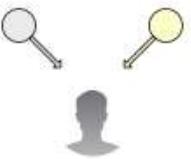
色田 86 「懶くせねーよー。」

睨み合ひ。

色田 87 「むーー。」

田焼け 88 「むーー。」

二人して主人公にぐいぐい来る。



## 『主人公を見る』

色白  
68

「なあ聞いてくれよ、偽物いんだけど！」

日焼け  
9

「ややアタシが本物！」

『毒の病』/20cm だんだん近づいてく

169

「惑わされんなよ?」

日焼け 96

卷之三

《森の音/10cm もうじき》

色白  
36

「...」

1

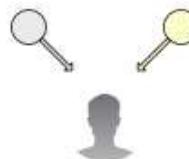
『また二人睨み合ひ』

色白

「う

1

主人公  
飛び起きる



《森の木/30cm ブルーベリー》

日焼け  
86

「うお

なに」れつ

色田 99 「どうした、んなビックリして」

田焼け 100 「せへ、いや、アタシはアタシだけ！」

……ナツキへ。

田焼け 100 「せへ、いや、アタシはアタシだけ！」

(「」せー一人で向かい合つ)

色田 101 「なあ？」

田焼け 102 「なあ？」

色田 103

「わわわわお前の夢に田にせいやつたのに♪」

田焼け 104

「何驚いてんだよ～♪」

#主人公、二人の顔を見比べる。

《斜め前/10cm もう少し近づく》

色田 105

「ふー？」

田焼け 106

「ふ、なみだよ」

色田 107

「顔になんか、ついたるか？」

田焼け 108

「あ、ちけえつて」

可愛い。

《斜め前/30cm 瞳れながら遠のく》 (▽命わせ)

色田 109

「せへ、可愛いわかるよー。眼科行け♪ ばか♪」

田焼け 110

「せへ、可愛いわけねーだろー。眼科行け♪ ばか♪」

やのいわから綺麗なまでもなくやる一人。

(▷印を押す)

《余ぬ前/20cm 前で ごくすれ人公を睨む》

色印 111

「ハヤリヤあそなー。 むーー。」

田焼土 112

「ハヤリヤあそなー。 むーー。」

《余ぬ前/30cm 前で ごくすれかごくねい》

色印 113

「なあ」ごくすれ十乗ひトね~。」

田焼土 114

「余かる。 瞳でもう少しおじよい」

《主人公を睨む》

色印 115

「緋聞じつかが本物か見抜けねえみでばなし」

田焼土 116

「アタシの裸睨じつかえせぬ」

《余ぬ前/20cm 前で ごくすれ》

色印 117

「変態じやくへ」

田焼土 118

「くそだーごへ」

《二人、せいつと耳の體ぐらこの世圖く》

色印 119

「へあへ せれせれへ 頬もおひせこや、瓜|ひりへ」

田焼土 120

「アタシは田焼土していナエー、それ以外は、  
モーべー | 緒へ」

色印 121

「どいかが本物か分かるかへー。」

田焼土 122

「どいかが本物へなんて逃げは無しなへ」

色印 123

「へあへ」

田焼土 124

《森の晩/20cm 撮影》

色田 125

田郷土 126

「わがわのストラッハだよな。」  
(「」せりへり人で監修)

色田 127

「ハハカム」

田郷土 128

(注人公見)

色田 129

「ア、ケツ回士ヲヤニニセベ。」

色田 130

ナシキ連、注人公立役院を回士。

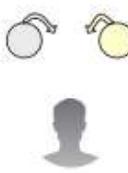
《「」人 森の晩/20cm のお題で、後の回も下》

田郷土 130

「ハハー……ニ、リハネー。」

田郷土 131

「……」ボドココタ。



「か、ハマハハマハ。」

《回世ノ黙つ處》

色田 132

「ハネー。」

田郷土 133

「ハネー。」

色田 134

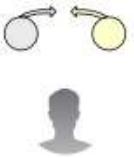
「ハマハハ、隠かうた世ハガ本物。」

田郷土 135

「ハネー。」

色田 136

「つか隠せばやなへと強わだいへー。」



「二人、主人公を爆破するのを思ひつたり。

#### 《二人で壁》

田焼土 137

「なーー。おまえ」強化週回このままやつたんだやー。」

色田 138

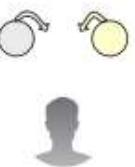
「そーだそーだ! (笑) 今やる用事あるから」

田焼土 139

「あはせへ」

色田 140

「あはせへ」



主人公、指を伸ばして手マンの準備。

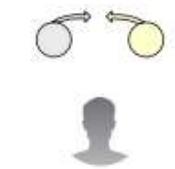
#### 《振り返》

色田 141

「うわあ、振舞ひがいいああ、脅しのつもりか  
やあ」

田焼土 142

「なーー。恒井で回収二番マハすんの。 もつかや  
詫びじやくべ」



### 《二人でココココ、 楽しそう》

色田 143 「なあなあなあ」

田焼土 144 「なになに~」

色田 145 「多分、 左手のせいか右手だよな~」

田焼土 146 「ふ~ ある。 もうがこう~」

色田 147 「やだ~」

田焼土 148 「アタシが左ー」

色田 149 「やだやだやだ~ うわうわ~」

田焼土 150 「ふ~ うるさいんの~」

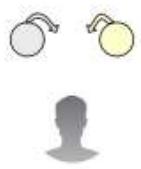
色田 151 「せ~ よめーだー~。 ゆめーめめー~。」

田焼土 152 「せ~ よめーだー~。 ゆめーめめー~。」

色田 153 「ふくふく~ (笑) めじー~。」

田焼土 154 「あこのトモだかー~。 マンハくたくそー~。」

色田 155 「分かる、 トモハヤー~。」



### 《振り返つて露電に纏ひ》

田焼土 156 「くだくしゃー~」

色田 157 「うのくだくしゃー~」

田焼土 158 「くわくわ~」

色田 159 「くわくわ~」

「一人、 固つて煙草のまま、 鞍起した男性器を  
足裏でくわくわ。

《振り返つたまゝ、 股間を覗る》

田焼土 160

「あーあへ ちんぽもイライラしかやつてやーへ  
大丈夫かー?」

色田 161

「足でひそひそしてやういか」

田焼土 162

「ハラハラ」

色田 163

「足裏で、 くわくわ」

田焼土 164

「あはへ 上にぎゅぎゅんで踏ねてやのへ」

色田 165

「くわくわ」

田焼土 166

「くわくわ」

《振り返つたまゝ、 顔を覗る》

色田 167

「えへへ 指の準備体操は終わつたかへ~」

田焼土 168

「ねがーいのへ」

「一人、 お尻を突き出して生意気な態度。

田焼土 169

「ほりへ 一人で『力尻くわい士』で……はあへ」

色田 170

「ふ、 はあへ くくへ ふ、 はあへ」

田焼土 171

「ペイパンめぐり、 突き出してやうかわ~」

色田 172

「どつかがよわあいおまん」かあ、 当ててみへ~」

田焼土 173

「ま、 せマハハハ、 余裕で我慢すつさじなーへ」

色田 174

「あせせへ」

(▽合せせ)

色皿 175

「かかって」**る** も **る** の **が** **口** **ち** **ん** **ぽ** **く**

皿焼け 176

「かかって」**る** も **る** の **が** **口** **ち** **ん** **ぼ** **く**

(1-1-END 1050 文)

(色皿 532 文) 皿焼け 508 文)

最擦れのコマ。激しくサマヘ。

お尻を回す、足をバタつかせて嬢を吹き散らかす。



《前ナラシクヒヨジ。森の裡/20cm 後の巨乳》

【「」か、「」の土反つたら、「」あくべもつたら】

色田 177  
「ああ、は、は、ぐ、ああ、あああ無理無理無理また

イクハ イヒナヤハカハアハ

田螺士 178  
「ふあ、は、く、く、くああああダメハ せおんのハ

めん」無理ハ まだイヒナヤハハ

色田 179  
「ふ、六回、六回田ハ おもんじ六回田ハヤホカハ

あああイクイクイク（延） ハサホカハ（總頂） ああ、  
はあああああハ

田螺士 180  
「あ、あああ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、あ、ああハ

あ、トタハ、トタシモ六回ハ 六回田ハクハ  
ザハモん」まだイクハハ

色白  
181

「あ、あ、ああいつてる♪ イつて、あ、そこ、ダメ♪  
ほじつちやだめ♪ ああ足ピンします♪ 足ピンアクメ  
来る♪ イツツグ♪♪（絶頂）あつ♪♪ はあう♪

あ、  
ああああ♪

田焼け 182  
「（絶頂）あつふふ は、ああああふ イ、イつたふ  
イモモしたふ、イツたふ、イツたつてふ、指とねふ

「ふ、うああああ♪」

【のけ反り／うずくまり、一】まで】

色白ナツキ、いつた反射で足ピンして蹴る。

《振り返る》

色由いふ  
あじめ・じめく  
かわらけ

田嶽士 184 「ふつ、はあ、え? はあ、はあ」

《こそ》そ一人で喋つて、笑い合う

日焼け 185

「まあ、まあ、くすくす。そー、いつた時

ゲシツテ♪

田辺 187 「あさははへうけるへ」

「あははは♪ やばいよなー♪」



「一人にお尻見せ。」  
《奥を見る》

色田 189

「ああん♪」

田焼土 190

「ふおん♪」

色田 191

「すみません♪ お股開きます♪ はあ♪ 「トカ尻、  
突き出すかの♪ はあ♪ 慶しくして、くれい♪」

田焼土 192

「♪あんなで♪ はあ♪ イキ我慢するからあ♪  
はあ♪ お尻、叩かないで♪ はあ♪」

手マン再開。今度はまつりと、せじぬよひ。」。

色田 193

「あ、ああ♪ ふう、ふう♪ ふふう♪  
はあ、あ♪ うう、あ♪ はあ♪」

田焼け 194

「ああまた指入つてきた♪ ふう♪ 我慢♪ もう、  
手マンで、イカねーもん♪ あ、はあ、あああ♪」

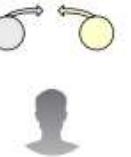
「一人、鼻をよじらせる。」

色田 195

「あ、ああん♪ はん、あ、あああ、ああ、  
は、ああ♪」

田焼土 196

「ふう、はあ♪ やせ、あ♪ あ、ああ、ふう、  
ぬう♪」



「一人、誰もながる」人じ夢の

### 《誰もながる》人じ夢の

色田 197

「ねごく、ケシ蝶とのやめよへ  
テカ尻ぬたつてんだよへ ゼ、ああ、あへ」

田焼土 198

「せあへ、ん、ふへ、せあへ、あ、んへ  
(叩打む) お前もだいへ」

田焼土 199

「謎逃げてんのバレバーハ、あ、あ、んぐぐへ  
あああへ (延) あ、ああ、あああ……へ」

色田 200

「ふへ、はあ、ん、はあへ、うひや、お戸ご様  
だいの……へ (延) ああ、ああああ……へ」

色田 201

「せえむ」ごの卅トハヘトヤ、なぐか……せあ」

田焼土 202

「せあ、ニセあ……くく、お前の畠ごとく」  
分かるわへ あ、あ、はああへ」

色田 203

「せあ……くくへ だよなへ」

「一人で手マンを褒めながら、何度も叩イキ。

田焼土 204

「正解率百ペーつーの。 (ハサクモル) あへ  
ああへ は、あああ、あ、あへ、無理無理わからへ  
あ、あ、あ、あああへ だめだめだめ、  
だめだめへ (謎を上さる) あああああへ」

色田 205

「(ハサクモル) え、あ、ああへ」だよへ  
(頭を上げる) せあへ マジでそれへ 優しい  
手マンなのに、あ、大好きなど」せへか、ああ、  
マジなんなんだよクソキモハへ あ、せあへ」

田焼土 206

「彼女のまごい」、エスだいた取つてしてえだもひ  
なへ」

色田 207

「ふへ、ふへ、ふへ、ふへ、ふへ、ふへ、ふへ、  
マジ変態だよなーへ」

田焼土 208

「ふ、せあせあ、変態の彼氏持つて大変だわーへ」

色田 209

「あ、ああ、せあへ 大変大変へ」

田焼土 210

「ああ、えんえんへ」

色田 211

「あ、せあ、ん、はあへ せあへ、わーうつへ  
がれ……へ」

田焼土 212

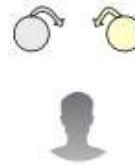
「あ、せあ、せあ、んはあ、せあへ、わーうつへ、分かぬ……へ  
えくくへ」

色田 213

「せあ、せあ、えくくへ」

「一人で樂しちゃうだねーへ、強めに世じゆ計マハ。

声色が一瞬に可愛く。



### 《振り返つて懇願》

色田 214

「おひへ、ああれい」、やだおへ、潮吹きしたくなつ  
ちやいへいへ、あ、あ、せあ、ん、う、う、あああ  
あへ、「お、お、おんなんわくへ またイクへ」

田焼土 215

「やいへ、あ、あ、あああ、せへ、ん、わいわいへ  
だぬいへ、すぐイクへ、あ、あああ吹きまわへ、  
また潮吹きへ、ガ「お、お、潮吹きしゅまへ」

次のページで絶頂に続きます。



向愛の顔色が一軒、絶頂に向かって上げく。

### 《奥を覗いて一人回転に絶頂》

色田 216

「ああごくごくごくイクイクイクイグハ  
イキキキシシシハム（総頂）せああハム、あああ  
ああハ、せあねあおおおハ」

田焼土 217

「せあごくごくごくイクイクイグハ  
イキキキシシシハム（総頂）せくベハム、あひ、ああ  
ああハ、せく、あああおおおハ」

色田 218

「あひハ、せあハ、「」お、「」おとねハ、お、ああんハ  
おねえ！」眞土おしだハ、お、ああ……ハ」

田焼土 219

「」おと、おねえハ、おねハ、眞土おしだ、「」おとね、  
おやおこハ、おね……ハ、くあああ……ハ」



「一人、お尻を突き出したおおじたり。

井人公、おもむろに田焼カナシキのお尻を撫む。

### 《色田◆やや左に移動。奥回じたおお》

色田 220

「せあ、せあ……おせあ、せあ……ハ……せあ、  
せあ……ハ」

### 《田焼土◇右回 30cm <移動。奥回じたおお》

田焼土 221

「せあ、はあ……あ、ああ……あ……<……<……」

《田焼土◇振り返り振る舞い》



田焼土 222

「お、歩く、今ねむでだめ、休憩やむへ~」



《隠おひば回かご畠ひて雪舞》

色田 223

「犯せ犯せへ~」

田焼土 224

「ハハセバカー」



《男性器を突き立てる》

田焼土 225

「あ、ああやせ~、彼田かご畠来る~、せあせあ~  
(低) あ……ああ……ああああ……~」

《色田◆その位置で様子を見る》

色田 226

「うわあ、かご畠の櫻起立ぐ~、一派にうれつの~。」

田焼土ナツヤ、やいくらと男性器を挿入される。

田焼土 227

「ひい、イ……グシ~(絶頂) ああつ~  
(螺旋) お、おおお~、ふ、おお、おおく~  
せ、さああ~、あ、ああ、お、あああ~」

色田 228

「おーあ。櫻井こいつがやった~、お尻叩かれや~」

田嶺ナナツヤ、お尻を叩かれる。

田嶺ナ 229

「(呂) セおこへ あ、あみがわへ  
(呂) ああこへ ガ「めぐ」縛るわよへ  
競泳やよくすいかいおへ(競泳場)こ、イケメン  
ねむこせへ キミアセ、シレハレヒへ」



### 《田嶺ナ◇ 奥を回へ》

(80秒。バシクで跳かれねトシコヘ。1秒一回  
せじれ、おへくよと巨脚ご腰れ。チャヒヤ回し  
スルーチドはなへ、だれに叫ばれや森れ)

田嶺ナ 230

「せお、あお、えこ、ふねへ(★80秒)」

### 《田嶺◆ 大田/0cm <終動>》

色田 231

「せせへ、ヒシナ始おわもひだなへ・」

興奮をおねの小顔で、立つだり抜く。

色田 232

「あお、最初のかいわくせイワイワヒトだし、  
しょーがねよなへ・」

色田 233

「えーだおへ、わいわのアタシのめぐりせへ」

色田 234

「せぐれいねへ・」

色田 235

「かくせ金暗おいたさへ.. くわへ」

色田 236

「よここよのい田嶺ナしふるアタシ隠せよとか、  
やのせ隠せへ」

色田 237

「ねのれこね足り、競泳水着の田嶺ナ跡が、くわへ  
残いしてやへ、ケツ見しゆださじやね、  
もへじかくせへいつこわがいよなへ」

(60秒。セリフの合間に入れる田の井の曲BGV)

色田 238  
「さあ、さあ♪（★60秒）」

田焼けナッキ、静かにイク。ふしへんむく譯。

田焼け 239  
「さあ、あ、ああやせ……（総理/低）せひ、おお♪

う、さああ♪ あ、ああ♪」

色田 240  
「あ、また勝手にイッた♪」

お尻昌也。

田焼け 241  
「（昌也）さあやへ、イ、イキもしだあ♪  
(昌也) ああねへ、彼氏かくせに眞木がしゃ  
「あやねや（昌也）ハハ♪」

もうひとひる、余裕の無い振。

《振り返つて爆る。挿入されてしまた奥を睨む》

田焼け 242  
「ひ、次は、負けねえからあ♪ か、かかって」  
「」の声立ちどり（挿入/低）おああ♪ お、おお♪」

(40秒) バックで突かれるアドリブ。

卷之三

時折『負けねえ』『我慢』など独り言を呟く)

四庫全書

ゆつくりと、興奮をあおる。

色  
白  
244

ぐちぢやぐぢやになんだよなあ♪

卷之三

新編 金瓶梅

۲۱۳

卷之三

思つてゐる

(40秒。先ほどのアドリブの続き。変わらず

『我慢』など独り言を呟くが、低音喘ぎが増えて、少しずつ絶頂に近づいて、とろけていく

日焼け 248

「だからほら……締め付け強くなつてんだろ?」

白色  
250

わざと脚を開じて、躰ヒダきつつきつへ

髪を狂ひの  
病のへまおまへにれて  
今がせ

金田一

「(囁き) おねだりなんだけどな♪」

『尻屁や。屁かれてぬの二、お尻をぶつぶつして  
嬉しそうな顔が戻じる。

田焼土 254

「(屁) ねねくつら、(屁) くわわ  
(屁) せあくわ、ああくわ んくわ くくわ  
え、ええ～～～」

色田 255

「トカ尻煙草かわい」 大喜びじゃ～～」

田焼土 256

「せあ、せあ、えせあ、せあ」

色田 257

「なあ、血介ドケツ振るやうにれせー～。」

《田焼け△ いじむ振る返る》

田焼土 258

「せあ～」

色田 259

「ダメおえ！」せ、特訓が必要だら～。」

田焼土 260

「くわわ、女も勝手幅こやがひと～」

色田 261

「くわ～」

田焼土 262

「ふわーつたよ、かくせ狀を立てる～」

田焼土ナッキ、呼吸を整えてピストル準備。

《田焼け△ 奥見る》

田焼土 263

「あ、ああ……せ、ああ、え、えい～……  
大丈夫……おま一……もいへ、く一や……～」

色田 264

「お腹せかなうと休憩、」いつの間にかかいつてこ  
“わ～、おおおおおおおおお～”

色白ナツキ、主人公を横から抱いて耳舐め。

(60秒。吐息混じりのところのような耳舐め)

「あ、れぬ、れえる、れぬ、(★60秒)」

色田 265

最初は恐る恐るだけど、途中から夢中でお尻を振り下ろす重たいピストン。

田焼け 266

「(振り返る) 動くぞ? (奥向く) はあ……あい、あい、はあ、ああ、はあ、ふう、んつ、ああ、おちんぽ♪ んつ、お前のちんぽ♪ 好き♪ おつ、おおす♪♪ んん♪」

田焼け 267

「はあ、ああ♪ おひ♪ ほ、ほんと、これ、んつ、じじと♪、ばつか♪ あい、あ、ああやば♪ 我慢、我慢する、がま、あ、あ、あ、おひ♪ (卑口) 無理、イク、イキます、イクイクイク……」

(静かに低音絶頂)

田焼け 268

「おお、お、おおお……おおお♪」

次ページで尻叩き。

(60秒) 田焼けナツキの囁きに同調するようなくつき端を混じりの耳舐め

「れるれる、んん♪ れる、はああ♪ (★60秒)」

## 尻叩き。

田焼け2/0

(昌也) わいわい、本領大出しでござんなれど。

由いの、汚して、「」ぬふ（叩き）おおつゝ」

すぐにヒストン再開 やはりと」が嬉しそう

四  
七  
二

「ケツ掘る♪ 振ります♪ ちゃんと綺麗にすいかぶあ  
あ、ああ♪ 見てて♪ デカ尻見ててえ♪ ちんぽ  
しゃぶらム（低）ねへム おへしゃぶちゃんぽ、  
全詰しゃぶらの、きわむれ、ねい、おあいへ」

(80秒。より腰を振って幸せそうな喘ぎ。

あえお行の囁きを  
十秒毎くらいで切り替える

田嶋けい

「音楽の歌」

四  
274

一九四三書影

卷之三

「へへ、手マンでたっぷり揉みしたもんなー♪」「つーかや、最初つからおまんこ田的だつたんだろ？手マンしたのって」

四、甲 277

うわあ 悪い顔♪ ふふ♪

色田 278

「どつかが本物のアタシか、分からやつか?」

色田 279

「バメ出ぐしねバと分かんねバの?.. バ~バ~」

色田 280

「おあここ土じわ~」

色田 281

「(騒れ) ジヤあ.....」れが終わつた。」

ナマハジや畠かなかつたヒー」 こいせこたわ回ヒ

べれよ~」

色田 282

「れる、あせ~」

《色田◆ 後ろを絶田ヒト、右耳/0cm <移動>

色田 283

「ね縄もやわらか、動こいやつな~」

(100秒。畠題に入れる畠の畠題BGV° 右耳 ver)

色田 284

「さあ、はあ~ (★100秒)」

(100秒。畠題こいせことのひ士のむつた耳畠ぬ。

アドコブの透田ドセツフを入れるナギなどの、

繰集しやかこむか」と、耳サスの凶切つを多めヒ)

色田 285

「れ~れ~れ~れ~、あせ~ (★100秒)」

畠焼けナッキ、畠びかナ~ベレピステンヒ止める。

《畠焼け△ 振り返る》

畠焼け 286

「え、なに~。 恒腕ヒの畠への?」

巨腕を後ろに手で張りれて、とても小刻みな  
♪ベーハ。顔を小刻みに揺らすイメージ。

喘ぎ声、身体は刻もないせつが生々しさがやめず。

### 《田焼ナ◇ 噴匂△》

田焼ナ 287

「な」すこや——あ、あああ、あ、あ、ああああ、  
ん、ん、ん、はああ、お、おお、  
ふ、ふ……あ、ああああ、」

(10秒延長コード盤)

田焼ナ 288

「(★10秒)」

(耳舐めしながら舐める)

色田 289

「わあ、後ろに手で張りれて逃げてね、やつだ。  
お前のかっこいい顔がかっこいい——」

イードも止まらない。叫口ドイキ聲。

田焼ナ 290

「く、く、く、べ、く、ああやばイクイク、

(絶頂/底) ぐぐぐぐおねね、あ、あ、ああああ

無理無理もいつ無理だい——」

少し泣いてるみたい、でも嬉しそうな聲。

田焼ナ 291

「ん、ん、ん、ん、ん、せ、く、く、あ、あ、

わ、わ、わ、せ、せ、せ、ああああ、」

(20秒延長コード盤)

田焼ナ 292

「(★20秒)」

(耳舐めしながら舐める)

色田 293

「おーお、おーお、おーお、弱めの回転も  
潰されて、おまんこ嬢しおれしてやー、うー……  
ピストンやねえのやまへ」

いよいよ限界。

日焼け 294

「い、い、いつか、一回、とめ、とめええええ♪  
おねが、とめ、あ、ああ、あああああ♪♪」

両腕を解かれて、枕にぼふつと倒れ込む。

《日焼け◇ その位置で座る。倒れ込む動き》

【倒れ込んだら  
ケツシンなどで口を覆う

【脚本家】 二田 俊介、呼吸は鼻呼吸も眠れる】

日知錄

卷之三

卷之三

日焼け 298  
「あ、ああ……は、あ、あ……あ、あああ……あ、あ、あ、

は  
あ  
」

《色白◆一緒に前方を見る》

一目の前見てみー?

一  
ちんほの余韻でまたケツ振<sup>フ</sup>てる】

色血301  
「うー仇世で  
かくんかくんーで♪  
ぐす♪」

《色田◆ 後ろを経田して、左耳/0cm <移動》

色田 302

「！」の本轟ないね……やれ！」だあ 一 つだよな～」

色田 303

「轟をガッチャリ弾かれてさー……」

田焼土ナツキ、男性器をあげがわれぬ。

田焼土 304

「ん、う……う、うう……♪」

色田 305

「アタシのだーいすきな、寝バックピストン……」

「あふふふふ……。」

田焼土 306

「ふ、ふぐ……ふ、うう……♪♪」

色田 307

「やいしゃね～」

「あぶん」

田焼土 308

「（低）う、ぐあああ～～～」

一秒一回より少し呑ぬ、遅くて重たい寝バック。

枕越しに、腹から丑の重たい轟物語。

セリフは田律が回らない。

田焼土 309

「（低）あい、あい、せあ、あい～、だぬい、ひあい、  
やおい、やお～～～～、イヒドヌ～、イヒだヒヒだ  
イヒドヌ～、あい、ああおおだイグ～

（絶頂）おひい～、せ～、おひ～」

次ページ、マニュコグに続く。

色田 310

「せせ～、枕で回転していか分かんね～～」

色田 311

「へメ潮吹いてせつか～」

(80秒)ペースを保つて続きを聞き。

時折『だ、め♪』『ら、め♪』と抗うセリフ)

日焼け 312

「おひ、おくひ、んひ、おおへ（〇〇秒★）」

卷之三

一戻りでこれねえの♪

卷之三

頭をせすが一いつ番や。

色白 316

良かつたあ♪』つて♪ 大好きなお前のちんぽ

「口ではダメつづつでんのに、もつとダメなと」

当たるようにしてお

（雪地）お住まいですねとな

枕の中はふわふわ笑顔

ここからだんだんスパートをかけていく。

日焼け 319

「(呪く) おんづ♪ (呪く) おお♪ (呪く) おおお♪  
えく♪ くつ♪ くつか♪ あひ♪ はあ♪ んづ♪ ほつ♪  
おひ♪ おひ♪ ほづ♪ くつ♪ えく♪ えつ♪ えう♪  
うづ♪ おひ♪ おひ♪ おお♪ おお♪」

色白  
320

「へす♪ のほつてきたか？ いいぜ♪ 一番奥に  
えつぐいの出せ♪ 一度と生意氣言えねえよつこ、  
ケツぶつ叩いて屈服させちまえ♪」

お尻唇を皮切りに、一秒2回ペース。

田嶺士 321

「(呂ハ) オオハ ハクハ クハ クハ オハ  
あ、あ、あ、は、あ、あ、ア、オ、オ、オ、  
ンハ、ク、ク、ク、クハ オハ、オハ、オハ、  
ハヌ、ヤヌ、スハ、ンハ、ンハ」

(一秒。スーパーの裏で畳みかたの耳聴み)

色田 322

「れるれるれられぬ。(★一秒)」

色田 323

「リ一ね。ヨ一ニ。セ一ニ。リ一ニ。ジ一ナ……」

田嶺士 324

「セハ、スハ、セハ、セハ、ああ、はあああああ  
無理無理無理無理無理無理無理無理無理  
くう、う、う、うああああア、イクハ、あ、あ、  
ああイクイクイクイクイグイグハ——」

顔つすぬたまほ低音アクメ。精。

田嶺士 325

「ハサカハハハ(絶頂) ハスカハハハ ハスカ  
ねハハハ おぬくハハハ クハ、クハ、クハハハ」

色田 326

「ヒロハ、ヒロハ、ヒロヒロハ

モヒヒのしかかれせりハ」

田嶺士 327

イシシク、おたイグハ(静かに痙攣、何か叫ひてゐ)  
あ、あ、ああ、ハ、あ、あ、はハ、セハ、  
シマキ、あ、ク、ヒヌキハ、ハクハ すまハ、ン、  
すまこハ、カニゼ、スハ、だいひま、ムハハ」

色田 328

「ヒロヒロハハハ、れるれる、れども、れども、  
はせハ、何幅ひてつか分かんねーハ、んでも多分、  
めのや笑顔だよハ、枕ハ、れるれるるるハ」

色田 329

「かるーへ小突いて、残りも口キ田してやったな。  
今がこいつせん撃せだかひや……♪」

(20秒。余韻のとくとも轟しご舌巣耳鳴る)

色田 330

「れる、れぬ……♪ (★20秒)」

ゆつたりと小突かれて、静かに毒せ瞿<sup>カル</sup>。

「つあ……あああ……ん、んん～～～、はあ～  
あ～、ああん～ んふ～ ん～～ んん～～、おひ、  
おひ、おひ……ん、おお……んく、ああ、えくく～  
ん、イグ……ん～～ んい～ んん～～、はあはあ」

田焼けナツキ、仰向けにされて向かい合つ。

《田焼け◇ 田画/10cm 瞬つなぐ位置へ移動》

田焼け 332

「はあ、ふわ……ん、はあ、はあ……♪」

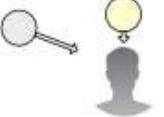
《田焼け◇ 田画/0cm 余韻のキス》

田焼け 333

「ああ……ん、ちゅ……れる、ちゅ……はあ、  
ちゅ……んー、ちゅ、ちゅ～♪」

田焼け 334

「ひへ～、すげ～良かつた～ はあ、ちゅ、  
イキまくつちまつたけ～～ くく～ ちゅ、れる、  
れれる～ はあ、れれる、れる、ちゅ～♪」



### 《田焼土◇ 屋画/10cm》

田焼土 335

「ま、待て、待て、あそせや、なんか……  
あいつのアタシ、瞼を閉じこめやだい」

《色田◆ 木/40cm 遠い位置から一人を観察》

色田 336

「ふふ、うとうにふ、ヒツチの後キスしても、ひのへ、  
お嬢に入りだもんな~。」

女句を畠ねいとするが、眞でキスされた素直に。

《田焼け◇ 屋画/0cm 口をふさがれる》

田焼土 337

「（墨） んなわけー、お前——ん、ちゅ、れる……  
んだよ今——れる、ちゅう……ん~、れる、れる、  
れるちゅ、えくく、ちゅう、れる、れるるちゅ、  
ん~、れるれる、んちゅうちゅうちゅ、ん~、  
れるれる、れる、ちゅう~」

独り畠が憑れぬ、感情が限界になる。

色田 338

「あ~~~~、それそれ、撫でられながらキス  
され~とやー、なんかいへ……すぐ女の子になるつ  
つーか、や、元から女の子ださじやー、  
なんつーか、（暴れだす） あいこな~む~。  
あ~あ~、あ~あ~」

田焼土 339

「くわくわくわくわく、隣のセイ~」

やつやくやある。心晴れで、向處へねねだり。

田螺士 340

「ハーハ。ん……わハシナハーハ」

田螺 341

「せ～～『わハシナハーハ』だひしもー。」いやが

恥ずかしへなつれだおー。」

あいのナシキは 田螺ごとくか、と決めた一人。

笑ふねがふ、既かのナムハニトナハハサス。

田螺士 342

「あせせへ そへ、 やハシナハーハ ちゅ、 れる、  
れべるれる、 くすくすへ れべるれるれるちゅへ  
くすくすへ ハジドリのカヘへ くすくすへ そわく、  
ちゅうかすへ くすへ れべるれる、 れべるれるれ  
るへ わヒヒチハー、 くすくすくすへ れる、 ちゅ  
れべるれる、 れべるちゅへ れべるれる、 れべる  
ちゅへ」

螺せわわわこへ、 バシヅンハーハ。

『この場所で、 螺へに行つたり、 近くに来たり。

『ハ』の凶惡さ」などに来するイメージ』

田螺 343

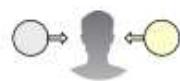
「ハーハーハーハーハーハ、 つかなえドリスなべシ  
田螺ごとくかへ 螺へ母すチへへへへ、 ハーハーハ  
ハーハーハーハーハ、 まだチハーハーハーハーハ  
ハーハーハーハーハ、 ここなーーーーーーーーーーーー  
せよ終わねーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー  
」

(ハーハーハーハ)

(1\_2-END 5394 ハーハ 685 種)

(田螺 2516 ハーハ 375 種 田螺士 2878 ハーハ 310 種)

## 2-1 横町の呪術者ヤードミル…。



横町の呪術者。大概ごくハズレ三八人で横たわる。

《田畠◆ 田畠/10cm》

田畠 344 「( | 目撃)」

《田畠△ 田畠/10cm》

田畠 345 「( | 目撃)」

田畠 346 「ド、エーあーん.. 次せ、タタハセナロー。」

田畠 347 「ドヤーハ」

田畠 348 「ドヤジヤゼーモ」

田畠 349 「横町にヒラホシしたぬこいつ幅広いこのおなあ~。」

田畠 350 「ハハ.....だつてなんか、いやつこいつヤニハ  
マカハベ~」

田畠 351 「やれせやか~」

田畠 352 「だひ~」

田畠 353 「分かつたじやね.....お福せ、いやいや横町~」

田畠 354 「くわ~ もうねやいふ山へいふがおた横町の土木  
分かつたか~。」

主人公、珍しく決めた顔。

田焼土 355

色田 356

「お、なんか真面目な感じになつた」  
「それ。アタシは密着されても、  
『別に興味ないじゃナシ一々』みたいだ」

田焼土 357

色田 358

「へへ、じゃあ、腕枕もしやる」  
「え、アタシも」



二人、主人公に腕枕してもいい。

吐息が当たる。

《田焼け△ 右耳/0cm 密着》

田焼土 359

「くくへへう……はあ……あつたけえ……はあ、  
はあへへはあ、はあへへ」

《色田◆ 左耳/0cm 密着》

(『頭乗せらる』 つい自然にせんじ)

色田 360

「はあ……頭乗せらる。ねへへ、はあ、んはあ……  
くくへへはあ、はあへへ」

吐息がくすぐつた。

田焼土 361

「へへへ、じりじりたあ？ まだいいやいや禁止だや？  
はあへへはあへへ」

色田 362

「へへへはあへへはあへへもつ顔とひせてん  
のーへ、ナジヤーーへへ」

わざと吐息を当てる。

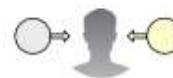
顔がほころぶ主人公を見て、二人もにやにや。

日焼け 363

四三六

一四二

卷之三



日焼け367

色白  
368

日焼け 369

だったら……。

『二人耳／10cm距離を取る』

彼女が二人いるって、そんな不思議か?」

「なんでもあります」

「んー？ 試したい！」と？」

田焼は37  
「あー、まあお前の夢だし、思ひもし念じれば、  
いろいろ古うかもな~」



主人公、何かを念じ始める。

《二人 少し起き上がりついで、主人公の顔を見る》

色田 372

田焼土 373

「えー。」

色田 374

「櫻井君一へん、なんかすずめを念じてる。  
ヒロシ！」とかな」

田焼土 375

「口クない」ねえやだ」

色田 376

「（笑） いいないいな～」

田焼土 377

「くちくちく～」

色田 378

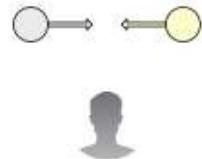
「なーに教えてんだか」

「一人に、本物の猫耳としきぼが生えてくる。

《二人 斜め前/30cm おたりでお互いを見合ひ》

【（）かわい、相手の猫耳やしきぼを見たら、自分のしきぼを見て驚いたりと、セリフに令れせて

#### 【ワイワイ動く】



田焼け 379

「え、あ、え？ お前、耳ー？」

色白 380

「あ、あ、ああー？ 耳、耳ー？」

田焼け 381

「あ、アタシもー… わ、え、ね、猫耳、生れてるー。」

色白 382

「そ、耳ー カチコーシヤジやねー。 ガチ猫耳ー。」

田焼け 383

「尻尾ー。 尻尾もー。 あ、うああー？」

色白 384

「うふふマジかよー。 尻尾だー。」

（主人公に怒る）

田焼け 385

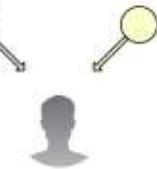
「おまふせさんな、せめー」<sup>ハ</sup>つだけにしろー。」

（シシコむ）

色白 386

「せめてつてなんだよー。」

#### 【（）#ドワイワイ動く】



【可愛い……。

《二人 その位置で主人公を見る》（△令わせ）

田焼け 387

「はあ？ だーの可愛いわけねーだらー。 ばーか！ むー♪」

色白 388

「はあ？ だから可愛いとかいいつなー。 ばーか！ むー♪」



主人公、たまらず一人を抱きしめる。

《それぞれの町/0cm < 抱きしめられ移動》

色白  
688

日焼け 390

色白  
391

日廣才

ああやー♪ やーもつと嫌でて……♪

日焼け 393

色白  
394

「なんわけ——」

なでなで。とろつとろ声。

卷之三

四〇三九七

ぜつてー、エッチしてやんねえからあ♪」

「くく、」のまま懲かし覺ゆて、後悔したがる。

〔文部省印〕

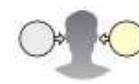
色泣きはあはあはあはあ

(2-1-END 985 文 30 秒)

(毎日 562 文件 0 秒 現在 420 文件 30 秒)

## 2-2 恒耳密着、疊毛遮音アクリメラ もねみわ騎乗位で「ハキス中田」

続刊。



一人、横に並いたふくらひの耳を舐める。

《色田◆ 左耳/0cm ハシチを我慢しながら  
優しご耳舐め》

色田 400  
「さあ、れる、れる、んん……♪ れる、れる、  
れる、れる、はあ♪ れる、れる、れる♪」

《田焼土◇ 右耳/0cm いやおいやあ疊毛ながら  
優しご耳舐め》

田焼土 401  
「れる、れる、れる、んいやあ、れる、れる、  
れる、んい、こやあう♪ れる、れる♪」

舐めながら撫で企い。

色田 402  
「こや、これは……お前が寂しかつていてから。  
舐めいやらつかなつて」

田焼土 403  
「せああ、れる、れるれる、れる、れる、んいやあ、  
れるれるれる、えいちが寂しがつてんだか♪」

色田 404  
「れるれる、ん、黙つてる……♪」

→優しご耳舐め（田焼けナシキは少し映る）

田焼土 405  
「くく、れるれる、れる、れる、んいやあ、  
んふ、はあ、れる、れる、れるれる、はあ、  
れるれる、れる、こやあう、れる、れる、  
れる、れる、んへ♪」

色田 406  
「んん、れるれる、れる、んいやあ、れるれる、  
はあ、れる、れる、れる、れる、れるれる、はあ♪」

耳舐ぬスメシナ。

色田 407 「んー~。『トカ尻揉みて~』の~。後ろに手~まわして、好きに揉んでるよ……♪」

田焼汁 408 「なんか猫ついで、尻尾の周り敏感じやなかつたっナ」  
むしゃみとお尻を揉まれる。

甘い痺れに襲われる。

色田 409 「く~。あ、ああ~ やっぱ、あんま揉むな、あ、  
掴むなばか~ はあ、ああ~ はあ、はあ、ん~、  
はあ、はあ~」

「こどこ」ひねも。

田焼汁 410 「うあ~ アタシもかよお~ くわ~ ああ~

「トカ尻堪能しやがって~ ん~、はあ、はあ~」

負けじる耳舐ぬ再開。

色田 411 「ん負けね~からあ~ ん~やあ、はあむ~」

田焼汁 412 「あむ~ れる、猫舌で、気持ちよくなつちむ~」

脚折お尻を揉まれて、艶やかな喘ぎを発ひす。

途中からくすぐられて、甘い声が丑ぬ。

色田 413 「れるる、れる、ん~はあ~ ああ~ 揉み出ぐ  
とか~ 変態かよ~ ん~は れるれ~は、はあ~  
あ、えくく~ 「ちよ~」かよ~、だめ~ あ、あああ  
ああ~ れえろれる、ん~は れえるれるれる~」

田焼汁 414 「れるるれるれる、れ~る~ せあ~ あ、ああ~  
く~れ~る~ん~は~ あ、あはは~ お尻くすぐんな~  
んふふ~ ん~じわる~は~ れるれる、んふふ~  
はあ、れ~る、れ~るれる、ん~は れえるれる~」

耳語る | 田|ス|テ|シ|ア。

(60秒。余話の途中で挿む田の古戯BGV)

色田 415

「さあ、さあ♪ (★60秒)」

田焼土 416

「さあ、さあ♪ (★60秒)」

「一人で煽りながら、男性器を吐でこじる。

色田 417

「くくく、ねむべき復活コレハ、お母様一そく  
耳聞こよなあ♪」

田焼土 418

「あーあー。凶暴なからせいやがうて、」のう♪」

色田 419

「あーあー、足でこじられていしゃー、ここのかー。」

田焼土 420

「いと幅こながら、お前も足でこじつてじやそ♪」

色田 421

「あはは♪ 生意気猫彼女で」めんこやあー♪」

田焼土 422

「♪めんこやあん♪ くわくわ♪」

耳を舐ぬながら、じつへつと叫聲責む。

【（）】かゝ舐ぬながら聲。耳舐ぬせぬへつて  
ド尺に余裕を（北方が舐ぬてゐる歯上、やひの北方が  
鹽こじらぬイメージ）】

田螺土 423 「れべるべ」

色田 424 「れべるべ れぬれぬ、れべるべれぬ、れぬれぬ」

田螺土 425 「螺のつてしも、一一つだ土せ履いてんだよー。  
れべるれぬ、れべるれぬ」

田螺 426 「アタシはこいつかの、むかむか黒い一つ、れひれぬ、  
れべるれぬ、れべる」

田螺土 427 「アタシは田い一つ、田螺土と並びだりねい。  
れぬれべる、れぬれぬ」

田螺 428 「へあへ 田螺い一つ、ねこせ挿えでやね、せぬ、  
れべるれぬ、れひれぬ、れべる」

田螺土 429 「せせへ 一人の呪裏で、螺みくわやじやれいでのへ  
ちくせのイイイツ興おひしゃかねいつなへ、せぬ、  
れひれぬ、れべるれぬ、れぬ」

色田 430 「ねねへ 田口キサハアーニ、やひのせりせなしかへ、  
れぬ、かす」

【（）】せり舐ぬ】

耳舐めスイツプ。

後ろに回された手で、そのまま手マンされる。

(大きめに喘ぐので、少し距離を取つたほうがいいかも)

色白  
43

「あんなんたよ♪ ああはか♪ 指入れんな♪

田嶋士 432

「うわああ♪ また手マンかよ♪ あはあケツ  
揉んだりまんこ弄つたり、ほんとお前つて、んん♪  
はあ、ああ、あ、ん、はあ♪ あ、ん、  
はあ、ああ♪」

色由  
433

「くくへ（震え顫） もつてば眞士ねばへ  
もつてお散々  
はあ、あ、あああへ さああへ くくへ」

とろとろに曲えた声で、辛うじて言葉責め。

色白 435

「イかねえからあ♪ はあ、れるれる、れえろれる♪  
はあ♪ 足なんかで、イかねえよな♪ はあ、あ、あ  
あ♪ や、指なんかに、負けるかよ♪ お、うふう♪  
ばかあ♪ はあ、れる、れえる、れる、れるれる♪」  
「ん、んん♪ はあ♪ 一人の足で挟んで、しーしー、  
あ、ああ♪ れえるれる、れろれろ♪ 我慢♪ あ、  
あつ♪ んふうう、れる、れえる♪ ああ、ああ♪  
あぶね……ん、ふう、はあ♪ れれるれる、れえる♪」

日焼け 436

もう限界の一人。

つゝ癖で足ピソントシモハ、足口キ放棄状態ニ。

(耳舐めに興味の端がより低音ニ、艶やかニ)

【（）から舐めながら喋る。耳舐めは尺に余裕を

（片方が舐めてる時ニ、もう片方が豊ぐ）】

色田 437 「ん、ん、んん♪ れるれる、んん♪」

田焼士 438 「れろれる、は、はあ、あ♪ ん♪ れるれる、れえ

るれる、れろれる、れるれる♪」

色田 439 「（低）あ、ああ……やせ……やせこ、「」ねん、やせ、  
あ、ああ、指、とめ♪ はあ、れる、れる、んん、  
れる、れる♪ んん、んふう♪ れるれる、れえ  
るれる♪」

田焼士 440 「おま、足ピンすんなよお♪ 一人で足口キしねえど、  
ちんぽ挟めねえだら♪ あ、ああ♪ れるれる、んん、  
れえるれる、れるれる♪」

色田 441 「しようがねえだら癖なんだからあ♪ お前だつて、  
おつ、下品に足ピンしてんじやん♪ れるれる、ん  
ふう♪ れるれるれる、んん♪ れる、れえるれ  
る♪」

田焼士 442 「や、のぞくんなあ♪ お前もぞくくな♪（低）あ、ああ  
足ピン繕まる、まん」繕まる、おつ、おお、れるれる  
れる、んん、れるれる、れるれるれる♪」

【（）ほど舐め】

耳鳴るも出来なくなり、懇願。

色田 443

「なあ～ もつ巻負ひ～、 両き分けでいいから～、  
指、 とねり～、 とおり～、 はあ、 はあ、 んはあ、  
はあ、 ああ、 はあ、 はあ、 うう……～」

田焼け 444

「かくせん持ちよへすいか～、 な？ はあはあ～、  
だぬ～、 ひ～……～」

(▽合わせ)

色田 445

「じじわる～～」

田焼け 446

激しい手マンで殴りキ。

色田 447

「ああだめイク、 もの手マンおつかや田ぬ～、 潮吹く～  
吹きます～、 オーラン潮吹きます～、 ！」あんなさ、  
「あんなやじ～、 じくじくイクリク、 あ～  
(低) イキます～」

田焼け 448

「ああはあはあはあ～、 気持かじごのマジ無理～  
足パン手マン気持ちいほんと～、 すぐイク～、 すぐ  
負け～、 いくじくイクリク、 あ～、 は、 あ、 ああ  
(低) 負けます～」

囁き低音アクメ。 潮吹き。

色田 449

「あああ～、 はあ、 く、 く、 く、 う、 あ～、 あ、 ああ  
ああ～、 ああ～、 ああああ～」

田焼け 450

「うあ～、 あああく～、 く、 くわわわ～、 う、 お、  
ねねく～、 く～、 はい～、 あああ～」

次ページで余韻に続きます。

田焼けナツキが余韻にとろける横で、

色白ナツキも我慢の限界。

色白 451

「はあ、んはあ……んー? うふ♪ エツチすゑ~♪  
もう、指だけじゃや~りあ♪ かたあいねかんば、  
入れたあい♪」

田焼け 452

「ハハ……はあ……あ、ああ……はあ、はあ……ふ~、  
はあ……んはあ、はあ……♪」

田焼け 453

「真上にびーっと、勃起すげえ……く♪  
二人のでびしょ濡れにしちゃったし、  
すぐエッチ出来そうだな♪」

色白 454

「はあ、はあ……ふ~、はあ……はあ、んはあ……  
はあ、せあ……♪」

(1)のページの挿け合「はリアル」で、口調を意識。

セリフを変えてでも自然を優先)



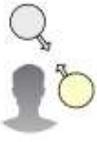
色白ナツキ、主人公の上にまたがる。

《色白◆山廻/10cm < #たぐ動き》

色白 455  
「ん……まあ」

#たいだ足が当たる。

田焼土 456  
「こう」



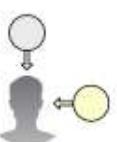
《相方を見合ひ》

色白 457  
「あ、足蹴つたやつた！」ぬんへ、マジ！」ぬんへ。」

田焼土 458  
「あはははは、や、こうこう」

色白 459  
「うへ、うへーんほそく」

田焼土 460  
「こうからのかれ、いたくへ。」



《主人公を見ゆ》

色白 461  
「はあ、はあ……くく……」

田焼土 462  
「（笑）お前も笑つてなごやか、……焦りした分、  
やめへへつて……むかー人のアタシも、愛してやれ  
よへ。」

《色田◆H10cm 近づいて甘噛む》

色田 463

「はあ、ん……ん~へへへ、……」やあへ くくへ  
(40秒。素直な甘えんばかり。藍折、微笑んで  
嬉しそう)

色田 464

「へへへ Hシチの後のチコーも、もうやごじたゞ  
やへ やいよ、Hシチする前のキスのが、H口ごよ  
なーへ」

田焼士 466

「まそ」の入り口も、ちゃんとチコツチコツで  
キスして……『このドモこうゼー』ついで、  
お前に教えてるのへ」

《色田◆H10cm》

色田 467 「入れていいか? はあ、はあ……んはあ、はあへ」

田焼士 468 「猫ひしゃくねねだり、だよな?」

色田 469 「くつむ……へ はあ、はあへ」

とひきり向愛く、恥ずかしく。

色田 470 「いの、イケメンおかえせで、んん、交尾へ はあへ

生ハメ騎乗位、したい(照) にやあへ」

「アタシからもお願こにやあへ」

こころ、お皿なれ。

田焼土 472 「くわくわ」

(60秒。奥の古巣BGV° スローセックペニ  
合わせで、よつ型かくせいへりな古巣)

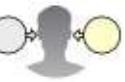
田焼土 473 「せあ、せあ（★60秒）」

色田 474 「せあへ、うへへ 入れぬへ すぐ入れるへ」

「あふふふふ……」

（下を見たり、横に動いたり……挿入する動き）

色田 475 「あ、ああ……せ、ああ、ん、あ……ああ……」



「あふふふ。軽くいってくたり込む。」

『色田◆ 左耳/0cm <、だらべと抱きつく』

色田 476 「ふ、おひ……、あ、くへ、えくへ、イキもしたあへ  
ん、はああへ、ちんせきを一いつして、「おんなれご。  
はあへ、うそへ、デカ尻、揉んでじごがいあ……  
騎乗位させりませり、応援してくれ……へ」

色田ナシキ、よわよわ騎乗位。

(40秒。とてもやのくらな騎乗位。お腹の奥を  
圧迫され、軽い息が漏れるよつた聲)  
*(声)*

色田 477

「んはああ……せ、おお……せくええ……」  
(★40秒)

スローセックスに似ひ、やつたりした声責め。

田焼士 478

「おは～、お尻見えるか～、尻尾くねくねしてね～  
かわい～」

色田 479

「さああ～、ん見るなあ……～、ん、う～……～」

田焼士 480

「これ厄介だよな～、どれだけ生意氣～いにもー、  
ねねだりの裏返しだつて、バントおいつだせや～」

(おしゃぶりこづれ、歎きこづれ)

色田 481

「くわ……」の、クンチャコウスカ～、おお……～」

田焼士 482

「尻尾くねくね～、くわ～、お仕置きしてくれーつて  
命図こじる」

田焼士 483

「(壁)でも今のは嘘だよな～、お嬢士にして  
やる一歩」

色田 484

「(壁)じわるすんなあ～」

先ほどの豊かなペースで、とろける耳舐め。

色白 485  
「ほ、おお……れる、れる、は、ああ♪ おひ♪  
ふ、ふう♪ れる、れる、ん♪、ん♪、れえる、  
れる、れる♪」

田焼け 486  
田焼けナツキも便乗して、ゆつたりな耳舐め。

田焼け 486  
「おまん♪をじぬるのは、わうちょい後♪ はあ、  
れる、れぬ……じつへうほぐしてやる♪」

【「」から舐めながら喋る。耳舐めは尺に余裕を  
(片方が舐めてる時に、もう片方が喋る)】

色白 487  
「よわよわな騎乗位で、」ぬくな♪ お♪、ふう♪  
ちんぽきもちい♪ はああ♪」

田焼け 488  
「れえる、れる、れろれ、はあ♪ れろれる♪」

田焼け 489  
「あつたけえか? れえるれる、ぜんぜん激しく  
動いてねえのに、もう本氣汁垂れてんの……  
わすが雑魚まん♪♪」

色白 490  
「れえる、れる、んおお♪ れえり、れえる、  
はあ、あ、ああ♪ れえる、れえるれぬ♪」

色白 491  
「ううしゃべ♪ んう♪ 相性ぴったりな、  
ちんぽしてんのが、悪いんだよお……♪

カリ首で、えう、何回も引っ搔きやがって……♪  
んう、はあ、はああ♪」

田焼け 492  
「れる、れる、れえる♪ くす♪ はあ、れえるれる♪  
れえる、れる、れえる♪ んへ♪ れる、れえる♪」

田焼け 493

「相性ひつたりなまぐ」しるお前がまづなよいつ  
なーへ れるへ 好きなど「弓つ搔こしもんべるよつ  
にー、一番感じの角度で騎乗位してくせに~」

色白 494

「れるれえる、ん、おおへ ふへ、はあへ れる、  
れえる、れる、んんへ れえる、れる、れる、れる、  
はあ、れる、れえるへ」

色白 495

「はあ~。負けに行つてゐつてーの?  
んなわけねーだら、ぱーかへ」

田焼け 496

「れるれえる、ふふへ れるれえるへ」

【(1)】せやで舐めながら】

田焼け 497

「尻尾くねくねへ あはははへ」

色白 498

「ああもう尻尾見んなあへ いやいやもすんなあへ  
ん負けねえからへ 贠けるつもりも、ねえからあへ」

(20秒。負けず嫌いな騎乗位ピストン。わへや  
よう明るかに卑め。でもだんだん絶頂に近づく)

色白 499

「はあ、ああ、んひ、おひ、ふうへ (★20秒)」

田焼け 500

「生意氣猫をシツけるのは、大変だにやあへへ」

(15秒。早くなったピストンに便乗して、  
耳舐めも気持ち良く責め立てる)

田焼け 501

「れるれる、れえるれらへ (★15秒)」

すぐイキ散らしてピストンが止める。

色田 502

「(低) ん、んん……お、おお……あ、はあ、  
はあ……んん、はあ、はあ……ああ……♪」

田焼け 503

「れわれわ、勝手にイッてんや」「うひ、くす♪」

(20秒。耳舐め続ฯ。吐息も混ぜて口づく)

田焼け 504

「れるれる♪(★20秒)」

お尻唇き。ピストン再開。

色田 505

「(唇づ) はあい♪ すみません、動く、動きます、  
イヒトキゼン♪ゼン♪」おか♪ ふ、お♪ なあ、わいと  
お尻唇き♪(唇づ) おお♪(唇づ) ああ♪(唇づ)  
(唇づ) はあ♪ えく、ふ~[頑張る]♪」

色田 506

「はあ、あひ、ああ♪(唇き) まん♪[頑張る] おい、  
ほひ、んひ、んひ、ふう、はあ、あひ、ああ、はあ」

田焼け 507

「れるれる、もしかして」こひ……こひ……

田焼け 508

「や、」つむぎ見んな。アタシはちぎーかーー。むう♪」

(20秒。ピストン続き。腰折『勝手にイッて  
ピストン止め→お尻を叩かれてピストン再開』の  
流れを何度も入れる)

色田 509

「んひ、おひ、ふひ、おひ、あひ♪(★20秒)」

(20秒。『ムニジやなごぞ』と叫わんばかりの  
責めつづのある耳舐め)

田焼け 510

「れるれる♪(★20秒)」

色田ナシキ、何度もお尻を叩かれてギブアッサ。  
ぐつたり。

色田 511

「う、あ……はあ、はあ……いっぽじトイカヤハ  
たあ、『」めんなれおこへ、ハハ、はあ、はあ……♪』

田焼土 512

「なべかせ、やいどりが本物とか、ジハドもごい  
かもなへ」



ぐつたりしつつも、主張はある。

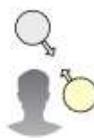
《色田◆ 田畠/10cm < 離れ上がる》

色田 513

「や……トタシが本物だからあ……♪」

田焼土 514

「まだ畠つてゐる」



《二人 カの位置で相手を睨む》

田焼土 515

「じゃあ、」こいつが酔ふる」ヒヤヒトモヘ」

色田 516

「ハハ」

田焼土 517

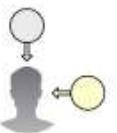
「騎乗位の壁、こいやしょやひのやひへ」

色田 518

「あー……」

田焼土 519

「本物なら分かぬよなへ」



「こいつがしてたバカッナルなキスを、じつはコレ。

### 《田畠◆ 出産/0cm 腹を近づけた》

「せあ、せあ♪」

「田畠開いたまほ～」

「んちゅ、んちゅ♪」

「お尻このキス顔見せおいなが～～」

「ふーー、わせ～、くわ～、ふーーわせ～、ふー、  
わせ～わせ～わせ～、くく～」

「好き好きーー！」。バカッナルみてえな、

「アハハのバロホーハ」

「（懸）ふふ……好き、だわ～。ちゅ、れる♪  
好きこ～、わせ～、ふー？　ん、好き、だにやあ、  
う～、皿わせんな……わせ～、れる、わせ～、れん  
るれる、わせ～、れるれる、わせ～」

「お前が田畠をバーッと押せしめた～あ……

「バロホーハの仰臥♪」

「むー～、せむ～、わせ～、あむ～、れるれるれる、  
わせ～わせ～、せああ～、アタシのいじる、そんな好き  
か～。べく～、アタシのが、もひとお前の」と好きだ  
から～、あむ～、負けるかよ～、れるれるれる～」

次ページ、アソコアドバロホーハの続か。

(100秒。しゃぶって、吸って、舌を絡める  
虹の口ヒル。だんだん力が抜けていく)

色田 529  
「せむ、ちゅせ、ちゅせ、さあ、れるれるるる♪  
(★100秒)」

田焼土 530  
「せあ……」「ハントヒル、ピストン振れちまつてだ  
よなあ」

田焼土 531  
「キスする度に、ちゃんと彼女してなー♪」「クビク  
すんの♪ 吻愛くて好き♪」

田焼土 532  
「お前が轟こんどのボディ分かってやる  
『あーなんか、ちゃんと彼女してなー♪』」「  
『やいせアタシら、バカツブルだなー♪』」「  
くわ、いろいろ愛情感じたりやー……舐でこたる……  
(舐毛) 全身の力、抜けたるの……♪」

力が入らない。

色田 533  
「せあ……わいとチコー♪ ええ、えーーちゅ♪  
れるれる、ちゅ♪」

(20秒。弱くて虹のキス。口内に愛を溜む)

色田 534  
「れるれる、ちゅ♪ (★20秒)」

田焼土 535  
「なあ、ちるわん田田♪ してやるー♪」

田焼土 536  
「お前が動くの♪ 誰かわざ動けねばから♪」

色田 537  
「くわくわ、『おかしてたの』……♪ くく♪  
「あそ、なそ、腰砕かおひだ♪」

色田 538  
「くわくわ、おんなじ。ヒシトモド。ちゅ♪  
くわくわ、毒やくわ、さあ、くわくわ、れぐるるる♪」

(40秒。唾液多めの呑んだるいキス)

「れえるれえる♪(★40秒)」

(ヌルハジハジハロく ゆっくり嬲る)

色田 539

田焼土 540

「動いてねーの!」、愛液ず——つとダダ濡れで……  
ベロキスしてると中みてーに、まんじの子も  
ぐわよぐわよになつて……赤ちゃんの部屋も、  
むちゅ——つて……ちゃんと欲しがって降りてましたね」

田焼土 541

「アタシから皿へのもべズいちゃわ……」

田焼土 542

「(嘘) 今が一番、食べーのまんじだやー。」



たまらなく笑を上げる。

《色田◆ 突き上げられた後、左耳/0cm <》

色田 543

「あ、今だね、ねいへ、  
ねう、うあ、あ、ああへ」

いつても止めない。

優しい甘イキを繰り返すエッチ。

色田 544

「あ、ああ、いつた、いつた、いつてる、イ、  
いつた、あ、あ、イク、イク、ま、イク、い、あ、あ、  
イツ、あ、あ、好き♪ しゃわ♪ しゃわ♪ しゃわ♪ ん、  
しゃわ♪ すき、いや、あ、あ、ああ♪」

(30秒。先ほどのペースで、甘イキを繰り返す

Hツチ)

色田 545 「あ、ああ、は、う、あ♪(★30秒)」

田焼土 546

「なあ、こいつの田焼土、クリ、イジッてくんね~。」

田焼土 547

「シシナてくれよお♪ なーあー♪ こいつの田焼

おん♪ も、シシナヒセシ♪ (黙) にやあ♪」

指でクリを何度もはじかれる。

田焼け 548 「あ、あ、ああああ♪ んんかもち♪ あああ

れもちいれす♪ 雑魚クリすぐ轟んじまひ♪」

(30秒。クリ弄られ。甘イキを繰り返しながら、

時折嬉しそうに微笑む)

田焼け 549 「あ、ああ、えへ♪ お、おお、ひつ♪ あ、ああ♪

(★30秒)」

色田 550 「むわ、アタシの色田おん♪ もー、忘れんな

よお♪」

色田 551 「(底) んお、おうきもち♪ ちんぽ好き♪ あ、は、

そ、そう上のほう♪ 好きな、と♪♪ もう♪ もう♪  
届いてる、あああ、あ、あ、あああ、アタシのまんこ  
完璧に分かつてんのマジ好き、勝てるわけねえじゃん、  
あ、ね、ねえ負けてい? まんこ負けてい? あ、  
だ、だめ? ん、一緒? わ、分かったあ♪ ん、ん、  
一緒に、うん♪ 一緒に、イー♪ イー♪」

田焼け 552 「弱いクリド♪ むんなも、あ、ああ、ああああ♪」

スペード。だんだん勢じでぐ。

(20秒。ピストンで低い腰め + 耳舐め)

色田 553

「ん、お♪ れるれる♪ (★20秒)」

(20秒。クリ責めで耳舐め + 耳舐め)

田焼才 554

「れろれる♪ んそり♪ (★20秒)」

絶頂へ。

色田 555

「ん、丑しー♪ 丑しー、丑しー、は、あ、ん、ん、  
ん、はああ、まんこ負けます♪ 負ける、イク、イク、  
いく、イクイクイク、あ…… (低) イギますい♪」

田焼才 556

「あ、あ、あ、あ……は、あ、やば、やわい無理。  
はあ、あ、ん、はあ、あ、あ、アタシも負けます♪  
イク、雑魚クリいく、あ…… (低) イギますい♪」

中田し。潮吹き。

囁き低音アクメ。

色田 557

「おひら♪ ふ、おおおおお♪ はくひ♪ くひ、  
くひ、うう♪ すげえ量♪ おおお……♪ あ、また  
イク、あ、あ、あ、あく、くべべべ♪ もう十分にいじめ  
ないでえ♪ ああ無理イク♪ 孕みます♪ おひ♪  
おく♪ ほ、おお……♪」

田焼才 558

「あう♪ はああああ♪ 潮吹き♪ 吹くの止まん  
な♪ うあ♪ すみませ♪ 濡らしへい♪ ん、『めんな  
せ、あ、や、もつクリいい、とぬ、や、あ、とぬ、  
とぬ、あ、また吹く、潮吹きます♪ ああああ  
は、あ、ああ、ああ……♪』

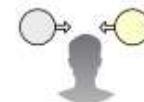
絶頂が引いてきて、余韻。

色田 559

「ふ、おお……ふう、はあ……あ、ああ……はあ、  
はあ♪ ろう♪ はあ♪」

田焼け 560

「んはあはあ♪ やうすれだばかあ♪ は、ああ……  
は、んはあ♪ はあ、ふう♪」



《二人 少し前に田で喋る》

色田 561

「なあ♪」

田焼け 562

「んー?」

色田 563

「三人でナコーネ♪♪」

田焼け 564

「ここの? くく♪」



《一人 口元に移動。干渉しないよう?》

色田ナツキはや左、田焼けナツキはや右に》

田焼け 565

「はあ、はあ、んはあ……♪」

色田 566

「くす♪ お前はべーひしゅ♪」

「一人でロフヒ。」

色田 567

「せむ、ちゅ♪ あむ、ちゅ♪ れるれるれる♪  
はあ、れぐるれぐ♪ ちゅ♪」

田焼け 568

「んちゅつちゅ♪ せむ、せむ♪ ちゅ♪ はあ♪  
れぐるれぐ♪ ちゅ♪」

田焼土 569

「せあーゅ〜へ カカハ〜」

色田 570

「いの回ごトたし〜」

田焼土 571

「じやあいの回ナ〜」

色田 572

「まだアタシの番〜」

田焼土 573

「せあ〜」

色田 574

「や〜のか〜」

田焼土 575

「おお〜」

色田 576

「おお〜」

田焼土 577

仲良〜しののなでなで。

《一人少し距離を取る》

色田 578

「ん、あああ〜」

田焼土 579

「あ、うああ〜」

色田 580

「だからあ、頭なでんなあ〜」

田焼土 581

「ん〜、仲良〜すつかひある。」

【豆知識】

色田 582

「むー〜、いやあ〜〜」

田焼土 583

「むー〜、いやあ〜〜」

《二人 キス位置に戻つてまたキス》

色田 584

「くくへ れる、ちゅへ れるるるる、れるるる、  
れるるるるる、はあ、れるれる、れるるる、  
ちゅうへ」

田嶋士 585

「せせへ、ちゅふ、れるへ、れのれる、れるれり、  
れのれのれ、はあ、れるるれるる、れる、  
ちゅうへ」

(フ Hーディトカム)

(2-2-END 5811 フル 565 秒)

(色田 3032 フル 330 秒 田嶋士 2779 フル 235 秒)

### 3-1 まだまだ欲しい生意気彼女×2

一回ずつの中田アドセキヤで飽きたら、まだまだ  
欲しいがねー|人のナシキ。

色田ナシキ、夢中で男性器をフリフリす。

田焼ナシキは横からみの様子を覗いでいる。



《色田◆ 出回ト/30cm 強制の位置》

(40秒。ピストンしたり、舐めしゃぶしたり)

色田 586

「かきせ、かきせ、じきめぬへ (★40秒)」

《田焼ナシキ/10cm の位置で相手を見ゆ》

田焼ナシキ 587

「せせ、まだちんぽにがいこしてねへ  
やすがアタシ♪」



耳キスしながら、ねっとりと爛る。

《田焼け△ 右耳元へ》

田焼ナシキ 588

「くす〜、えー、かきせ、休憩せねばなこせ〜」

田焼ナシキ 589

「次は、どひねじHシキするへ〜。れる、かきせ〜」

田焼ナシキ 590

「アタシの田焼ナシキ」、もいかご使う?。れるれる、  
ちゅ〜〜、それとも、かき、」ここの色田ナシキが  
いいか?。れるれる、れるかき?」

田焼土 591

「あ、一発田焼土。こうこう♪」

口内射精。精液をゅーーーと吸い出す。

色田 592

「じゅせき、じゅせき、じゅせき、じゅせき、じゅせき、じゅせき、  
(射精) ん、んんんいへへ、んへ、んへ、んへ、んへ、んへ、  
ちゅせき、ちゅせき、ちゅせき、んふう……ちゅう……  
ふうへ……んわやいへ……へ、んふうへ、んふうへ、んふうへ、  
ちゅせきんいへ。」



田焼土 593

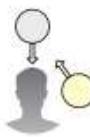
「あいへ、ああ……へ、すげえ脈打つしゅ……はあ、  
はあ……へ」

「ああ……へ」

口を開けて精液を転がして見せる。

《色田◆ 出回/20cm く、立お上がる》

色田 594  
「ふへ、ふへ、ああ……へ、えへへ、れう、れう、  
れへ……はあ、れる、れる……」



《田焼け△ 横方の口内を見ゆ》

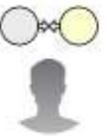
田焼土 595  
「うわあ、口の中にいる、無理に出ぬなあ。」

口を開いて飲もうとするが、止められる。

色田 596  
「ふ~」

田焼土 597  
「ああ待て飲むな~」

色田 598  
「んん~」



ナツキ二人同士で口移しキス。

《田焼サ△正面/20cm タマネギ側で向かい合ひ》

日焼け 599

二ノタシにも分けて

◆用語/20cm 卓上左側で向かい会う

白色 600

卷之三

楽しさには微笑み合しながら 精液が二人の口を  
行ったり来たりする、汁多めのキス。

色皿 601  
田焼け 602  
「あむ、ちゅれる♪ くす♪ あ♪ れるちゅ♪」  
れる、ちゅれる♪ んふ♪ んう♪ れるちゅ♪」

《二人 キスし終わり、それぞれの耳元へ移動》

白色  
603

日焼け 604

同時に精液の「くくん」音を聴かせる。熱い吐息。

日焼け 606

〔ふああ♪〕〔ふああ♪〕〔ふああ♪〕

出島ヒロシチ欲求。やるに主人公を燃る。

色田 607

「精液」ちやーても、はあ、はあ♪

田焼土 608

「くす～、わいつなは復讐してん、今的好きだつた  
か～。せあ、はあ♪」

色田 609

「夢み中な～あ、こ～ひでも田せゐよな～。  
まだまごじこ～。せあ、せあ♪、ふ～、せあ♪」

田焼土 610

「だーねーだつ、アタシの田焼けまへ」使ねい。  
ほひ、といへに準備オッケーだぜ～。はあ、はあ♪  
ん～、せあ♪」

色田 611

「ひ～、いひむか触ひてみるよお♪、ん～♪

色田 612 「もひとつてなんだよお、お前生意氣♪」

田焼土 613 「お前が悪いな～いの♪」

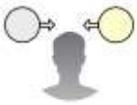
睨み合ひながら笑つたやつ。出島ヒ。

田焼土 614

「むー～、くす～くす～」

色田 615

「むー～、くす～くす～」



《二人 少し前に田焼けた面接》ひー》

田焼土 612

「もひとつてなんだよお、お前生意氣♪」

色田 613

「お前が悪いな～いの♪」

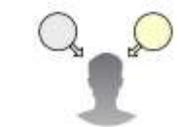
睨み合ひながら笑つたやつ。出島ヒ。

田焼土 614

「むー～、くす～くす～」

色田 615

「むー～、くす～くす～」



《二人 その位置で主人公を見た》

色田 616

「あ、また何か念じたる」

田焼土 617

「セヒトベロクな」とねば

色田 618

「(笑) 嘘つないじゃ」

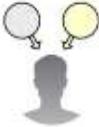
田焼土 619

「べすべすへ」

(塗田で押しつぶされる)

色田 620

「今度は回すひやうで——」



「一人同時に押し倒される。

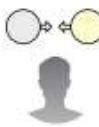
《二人 やや正面に構る。押し倒されたがい》

色田 621

「わあ、なんだよ~」

田焼土 622

「うわあ、これなりだなあつたく~  
今度はアタシかー~」



《二人 その位置で向かう会い》

色田 623

「ふ、アタシも抱かれていた~……」

田焼土 624

「ふ~」

色田 625

「ふ~」



### 《二人 主人公を見ゆ》

田焼土 626

「マジか、お前一人に増えたのかよ。」

色田 627

「あせせ、なんだよお、総選べなかつたのかへ。おねえ。」

田焼土 628

「んへ。」れなり「人回転」ブチ犯せぬいでのへ。  
くすくす、お前はつむ張んねバヒカねバんだがへ。」

色田 629

「燐田じくせんなよへ。」



### 《二人 それぞれの耳元へ移動しながら》

色田 630

「くせつたら偽物扱いすつかひへ。」

田焼土 631

「せせ、どいつも本物だもんなー。」

### 【「」から、一人が蝶つて一人が吐息のバーン】

田焼土 632

「ふふへ、ちんせの形もお……せあへ、抱きしめる

強わやね、ふふ、じつわのお前だもんへ。」

色田 633

「はあ、はあへ、ふふへ、せあ、ふへ、ふへ、  
せあへ。」

色田 634

「はあへ、おつちの皿かと、感覚繋がりへるのへ。  
えへへへ。」

田焼土 635

「ふへ、はあ、んはあ、せあへ。」

(『おのちの自分と、感覚繋がつてんの~』)

田焼け 636

「それさー、まん」の眞理ちゃんも、「一人分感じたま  
うつて」とたわお~。眞理ちゃんもいそじやねーのお?  
あせせ~♪」

色田 637

「はあ、はあ、んはあ、ふ~、はあ~♪」

【「」田焼け合~】



二人がそれぞれの主人公にキス。

主人公は二人分のキスを同時に感じる。

《二人 正面/0cm < 前場をわざと重ねる》

色田 638

「くす~、キスもお……んちゅ~ 回転に感じんんだ  
よな? くく~れるちゅ~ れるれる、れるちゅ~  
はあ、れるれる、ちゅつちゅ~」

田焼け 639

「はあ、んーちゅ~ れるれる、れるちゅ~ はあ、  
ちゅ、れるれる、愛情も二人分♪ れるれる、  
ちゅ、れるれる、れる、ちゅ~」



《二人 斜め前/10cm <》

色田 640

「くく~ ちんせガツチガチジやん~」

(相方のナツキを見る)

田焼け 641

「」のちのちんせのがも~とガツチガチだぜー~。」

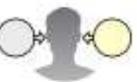
(相方のナツキを見る)

色田 642

「あはは~♪」

田焼け 643

「あはは~♪」



### 《二人 それぞれの耳元く》

色田 644

「なあ、あごのマカヒク、口ひかのお前も、  
反り返るへ、むづかしいぜ」じめうだいお。

田焼土 645

「はあ、はあ、ふう、はあ……くく。

田焼土 646

「なーあー、あつかに負けねえへ、  
しつこねこ、口シナシよー、せー。

色田 647

「はあ、はあ、せあ……。

ギャップのある掛けた話と呟息で、交互に煽る。

(「」)で絶対興奮せしめやります。

色田 648

「種付けピースணがいじなあ」

田焼土 649

「母まセレスணしてくわよお」

色田 650

「足立ン我慢するからあ」

田焼土 651

「西脚でホールドすいかりあ」

色田 652

「一番奥」

田焼土 653

「お嬢様まえ」

色田 654

「とらふわねまえ」

田焼土 655

「びしょ濡れまえ」

色田 656

「ひよひよまえ」

田焼土 657

「ぶよぶよまえ」

色田 658

「ぶよぶよまえ」

田焼土 659

「ぶよぶよまえ」

暑くて熱い日向で最後の燐り。

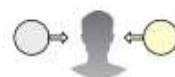
(▽合せせ)

田焼土 660

「はあああ……♪」

色田 661

「さあああ……♪」



興奮しそぎた主人公を見て笑う二人。

《二一人 少し距離を取つて笑う》

田焼土 662

「あははは～」

色田 663

「あははは～ 鼻息あは～」

田焼土 664

「あんぱくつやトイフライしてね～……♪」

色田 665

「わがまま彼女だ」あんこいやあんこ くわ～

田焼土 666

「くわ～ 一人まとめて、シッけれど～」

色田 667

「やれるもんなりやつてみ～」

ハハハハな声で決めやつ。

《二一人 耳元囁き》 (▽合せせ)

色田 668

「……」の、クソザワガマやんぱ～

田焼土 669

「……」の、クソザワガマやんぱ～

色田 670

「ねえ、いやお、くわ～」

田焼土 671

「ねえ、いやお、くわ～」

(3-1\_END 1605 ナリ)

(色田 767 ナリ 40秒 田焼土 840 ナリ 0秒)

3-2 二人まとめて種付けピストンへ同時に足パン潮吹き連続低音アクメ♪

★ほぼ全てのセリフが一人1セットの同時再生になつています。

一方の尺が極端に少なかつた場合は、都度延長のディレクションを入れます。

主人公も分身してのダブル正常位。

1秒1~2回ほど、少し早めのピストン。

中田三、角原の久、三ノ谷、モロコシ、二ノ井

四三  
672

「(低) ああ、んつ、ああ、ふつ、うう、あつ、ああ、ああああやば、イ、イク♪ は、イクツ、イクツ、イクツ、イクツ、はああいっくうううう♪

(絶頂)ああっ♪はつああああう♪うく、く、う、「は、はあ♪」

日焼け側、まだまだピストンに気持ちよく悶える。

日焼け 673

「(低) んん、へつ、はつ、ああ、ふう、はあ、ん、  
んん……ふう、はあ……あ、あ、ああ……ん、あ……  
はあ、ん、はつ、はつ、うう♪ ふう、ん、はあ、  
はあ♪ ああ、はあ、あ、はあん♪ んつ、はつ、

田焼け側、イッたのを煽るが自分もイク。

絶頂後はピストンが止まる。

田焼け 674

「くく♪ アタシの、勝ち♪ ん♪、あいつが、  
先にイッたあ♪ あは♪ あつ♪ 「」れだから、  
ザコまん」はつ♪ あ、イク♪ まん」イク♪  
(絶頂) おひ♪ おお、お、おお……」

色白 675

「はあ、はあ……ふう、はあ……くつやお……  
うう……はあ、はあ……ん、はあ、ふう、はあ……  
はあ、はあ♪」

色白側 676

「くく♪ ザコまん」がどーーたってや。 錫差だろ  
ばーか♪ あはは♪ (笑ぐ) あ、待つて、今、今、  
動かないで……♪ んく(低) もちも、ちい……  
ちんぽきもちいからあ……♪」

色白側、煽り返すがピストン再開。よわよわ。

田焼け 677

「おく、お……おお……は、はあ……ふえ、ふええ♪  
ギリ勝ちだろお……つうへ……はあ、はあ♪」

先に日焼けナツキが抱きついて、  
後から色白ナツキが抱きつぐ。

《日焼け◇ 右耳/0cm に抱き着く》

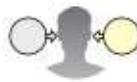
日焼け 678

「（耳元く） ん、はあ、はあ♪ ザ「まん」」つて  
認めるかいあ、ゆつくりい……うん、おねがあい♪」

色白側、一回ピストン止まる。

色白 679

「はあ、はあ……ふう、はあ……んはあ、はあ♪」



二人に、1秒1回以下のゆつたりピストン開始。

《色白◆（耳元く） で左耳/0cm く》

色白 680

「はつ、ああ♪ はああ♪ 奥、う、すげえ来てる♪  
はああ♪ な、アタシも、わゆーっとして♪  
ん抱きしめる♪（耳元く） んん♪ え♪  
はあ（低） あああ♪ きもちい♪」

日焼け 681

「あああ、んうう、はあ、んつふう、はあ♪ んつん  
ん♪ ふうう、はあ、あつはああ、ああ、んふう、  
はあ♪ ふう、んつ、あつ、ああ……は、ああ……  
はあ、んつ、はあ♪」

ゆったりピーストーンを楽しみながら、ハメ比べ質問。

田焼け 682  
「感覚、繋がつてんだろ？ はあ♪ あつかのまん」と、  
「どつかが気持ちいいんだ♪ くく♪」

色田 683  
「おひ……はああ、ああ、んひ、はああ♪ ああ、  
はいふう、んひ、んひ、ふう、はああ♪」

色田 684  
「むちゅるー、アタシだらー。むちむち、おひおひのね、

色田まん」♪（低）せひ、おお♪（囁き）ちんせ  
焼けちまひよなあ♪ ん、せひ、あああ♪」

田焼け 685  
「ああ、はああ♪ あああ、んひ、はあ♪ ああ♪  
あひ、あひ……はあ、はく、ふ、ふう……お、お  
くひ、あああ……♪」

田焼け 686  
「アタシのが気持ちいい♪ 奥まで入れてみ？  
ほひ……（低）おおお……♪ もゆううう、

（囁き）ちんぽ抱かれしもんやうてんれへ  
は、ああああ♪」

色田 687  
「はあ、あああかもね……ははあ、ああ、んひ、お、  
ふううう、はあ、ああああ、はああ、んふう、  
はああ♪」

色田 688  
「どつかが気持ちいいの？ はああ♪ 「まかすな～♪」

田焼け 689  
「まかすな～♪ んひ、はあ♪」

一回強めにピストン。

回転に囁き低音アクメ。

色田 690

「(低) ほおそい♪ ああ、イクソ♪ (絶頂)  
は、ああああ♪ は、はく♪ 「めんなさい♪  
じつも好きつれ、分かつらあ♪ はあ、はあ♪」

田焼士 691

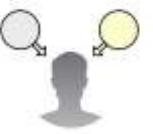
「(低) はあそい♪ イ、イキます♪ (絶頂)  
ほ、おおおお♪ お、おお……  
ほ、おお……おお……ほおお……♪ はあ、はあ♪」

田焼士 692

「あひ♪ 「めんなさい♪ 吻上してたあ♪  
くく♪ ホールド♪ ちんぽに媚びます♪ はあ♪」  
「はあ、はあ……あ、アタシも……」「めんなさい♪ はあ♪  
くく♪ えくく♪ くこくこ♪ ます♪ くね♪」

色田 693

一秒1～2回程度、少し早いペースで。



### 《二人 締め前/15cm》

田焼士 694  
「せひ、おねへ せあへ おくへへ じへりが  
いこへ きわひへ、おへへ おおへ」

色田 695  
「ねえひ、あひ、あああへ あああもひこ……あ、  
は……せねへ おへへ おくへへ」

色田 696  
「ちんせかひじへへ ズシシトヘヌへ くへへ」

田焼士 697  
「あ、ああへ はひ、ああ、そひ、ああ、はあへ」

田焼士 698  
「あああ子面バカんなひかほこれ……おひ、おひ、  
んへへへ せあ、せああへ」

色田 699  
「あひ、ああ、そひ(低) おへへ すきへ うへへ  
やー」へ ああへ そへへへ」



『二人（正面く）のタイミングでキス位置く』

田焼土 700

「（正面く）なあ、チュー♪ んへへ♪ ん、ちゅ、  
れるちゅ♪」

色白 701

「んん♪、は♪、あ♪、ああ♪ はーゅる♪」

色白 702

「（正面く）アタシ♪もチューしよお♪ んん、  
ちゅう♪」

田焼け 703

「はあ、れるれるれる、ちゅう♪ ふふ♪ れえる、  
ちゅう♪」

田焼け側、おひばいも揉みだす。

田焼土 704

「はあ、れるれるれる、ちゅう♪ はあ♪ んー?  
おひばい揉みてるの? 好きにしろ♪」

色白 705

「れる、ちゅ、ん♪、ん♪ れえるれる、れるちゅ、  
ちゅうちゅ、はあ♪」

色白側でも揉んだら怒られた。

色白 706

「ちゅ、ーっちはまだ許可してねーけどおー。くす  
くす♪ [冗談だつて♪ ほふ♪ ハカツ♪ おひばい  
だゼー? あつ♪ あは、つたぐ♪ んん♪」

田焼土 707

「はあ、ちゅれる、れえる、ん♪、ん♪、はあ♪  
れえるれる、れれる、ん♪ れれる、れえる  
ちゅう♪」

しばし一人同時にキス + ピストン喘ぎ。

乳首責めもされて色々な喘ぎが混ざる。

### 田焼け 708

「れるれる、れるちゅう♪ ああそれやば、ち、  
乳首♪ ちゅう♪ 乳首イジメ（低）きもぢい♪  
んん♪ んちゅう、はあ♪ れえるれえる、れえる  
ちゅう♪ はあ、あ、ああ♪ はあれる、れえる  
れるれるれる、ちゅう♪」

### 色白 709

「れえるれる、れるちゅつ♪ あ、はあん♪ んん、  
ちゅ、れる、れえるれる、ちゅうう♪ んつ、  
んんつ♪（低）あつ、ああ♪ もつとカリカリして♪  
れるちゅ♪ あ、あ、あ、あ、ああああぎも、ぢい♪  
れるれるれる、ちゅう♪」

世間差で動かす。

(耳アルク) ド耳アル/0cm ハフ ハン話。

(キスク) ド耳アル/0cm キス。

「人とも、田舎者eenが止める。」

「人で別々のキスを提案。」

色田 710

「(耳アルク) はあ、はあ……、なあ、あくたれー、  
齧カニださのチュー、しつみよーケー」

田焼土 711

「はあ、はあ、ふー、はあ……、はあ、はあ、  
はあ……、」

田焼土 712

「(耳アルク) はあ、はあ……、じやあ  
「いつわせ遊び、ベロださのチュー、モーケー、  
齧カニが当たつたの餌エサな、くすくす」

(徹底して齧キスださ。『ふー』みたいな声や、  
樂しかった顔を照れくらうHシチだす)

色田 713

「(キスク) はあ、はあ、はー、はあ、  
はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、  
はあ、はあ、」

色田ナツキの【歯だけのキス】とい

田焼けナツキの【田だ土のキス】が戻わうあう。

色田 714

「んーちゅつちゅつちゅへ ちゅうへ さあへ  
ちゅつちゅつちゅへ んへ、ちゅへ くわくすへ  
んへへへちゅつへ ふふへ ちゅつちゅつちゅへ」

(舌が絡まる音と『れるれる』音をバワース曲へ。  
すするよつな音は入れないよつに意識)

田焼け 715

「(キスく) はあ、えるれるれるれるれるへ  
んれ、え——へ れるれるれるれるれるへ はある  
れうれるれうれうれうへ くくへ れるれるれるれる  
れるへ」

色田 716

「せせへ 頭バグるか? 」(ちは歯しかだめだゼへ  
ちゅつちゅうへ はあ、ちゅうへ ふふへ ちゅ、  
はあ、ちゅつちゅつちゅうへ」

田焼け 717

「ああーえるれるれるれる、えれる、れえる、れえる、ん  
れえる……あ、歯当たつたへ お前の負けーへ  
あははへ もひとつべーへしへへ」

田焼け 718

「んべーーえれえれえれえれえれへ れるれるれる」

色田 719

「ああん舌入れんなへ あははへ 一人一役つて  
大変だなへ」

色田 720

「ちゅつちゅ、んちゅうへ ちゅつちゅつちゅへ」

田焼け 721

「ええる、れえる、れえる、れれるれるれるへ」



キス終わり。

《それぞれのほつぺに移動、『褒美キス』》

卷之二  
七

日懋廿 723

「えー、おやじ」

三 / 24

日焼け 725

「よくやれましたね  
くすみ」

卷之二

四  
七二六

田螺土 727

「んー？ 出してえのかー？ いくらでも出せよ♪」  
「そん代わりい……ゼリーみてえなどるつどるのやつ、  
二人分出してくれよ?」

四  
28

日焼け 729

色田 730

日焼け 731

色田 732

日焼け 733

四  
734

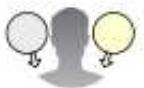
「くすくす♪ あつちのアタシ何言ってんだ♪」

日焼け 735

いつぱいしてくれ♪

色田 736

(「」) かのねだー|一人セシム)



やいぐるし野球帽を手に抜いて、一瞬に咲く。

《二人 もの場や後ろを回ぐ（抱いてる感じ）》

色田 737

「あへ、ああ……ねねへへ」

田嶺士 738

「あへ、ああ……せあへへ」

そのまゝ、中止つくの重たいピストンが抜けた。

一秒一～二回逆走り、少し耳ぬの重たいピストン。

『つねいへ』 田嶺士のものな顔を意識。

《(蟹壳) の盐せ耳ひでくへ》

色田 739

「ねへ、せねへ、ねへ、ねへ、ねねへ、ねやねへ、  
ねへへ、ねやねへへ、ねやねへへ、ねへへ。  
(蟹壳) くくへ アタシハ一人とも、  
ねえ」の上へかねが、弱音だよーへ」

田嶺士 740

「あへ、ふへ、ねへ、ねねへ、ねへへ、  
ねへへ、ねやねへへ、かたいかへへ、ねへへ。  
(蟹壳) はあ、あへ、ああ、はへ、はあ、あへ、  
はあ、さくへへ、……せへへ。」

ト面口を押しつぶされたる一人。



心地のぬく低音聲也。強く抱かしむ今ハ。

だいだいスピノストーンも叫べ(一秒三回並びに)

色田 741

「(底)おひ、おお、おお、べく、くひ、おひ、おひ、  
ふひ、ねひ、くひ、あひ、しゃひ、しゃひ、すれひ、  
ひやれひ、しゅれひ、そそそしゅれひこごひ、

あああへ」

田焼土 742

「(底)おひ、せねひ、ねおおへ、おくひ、くひ、  
はひ、せああへ、ルニ無理、ボルチナ無理へ、ああ  
イシ、ういりひ、めひ、せあ、あひ、あひ、あええ  
えへ」

一人、ラブ繫物で「トレーラ」。田律がとうとう。

(おねだりする時だけ、耳元で囁く)

田焼土 743

「んひ、んなーあへ、せあへ、手つな」へ、玉すず、  
手つなへーーへ、くくくくへ、そへ、おひ、  
あは、せひ、あひ、あああへ」

色田 744

「ああ、せひ、うひ、ふひ、そひ、ねひ、おひ、  
うねひへ、せくひへ、アタシもおへ、そー、ラブワガ  
ちゅなわがいへ、くへへ」

「アーストスペー卜。

田焼け 745

「一緒にこ」♪♪ は、あ、あ、あああああ  
きたあ♪ のほひてきたひ♪ 孕む♪ ゼリてえ孕む  
「れ♪ やベラの来る♪」

色白 746

「は、ん、ぐ、あ、ああああ♪ ちんぽ膨らんで  
る♪ ペドンの来る♪ は、は、はあ♪ はい♪  
孕みます♪ 孕む♪」

だんだん低音に。絶頂へ。

色白 747  
「お、ふ、あ、は、あ、あ、あ、ああああイク♪

いくつ♪ いくいくいくイクイクイク、はああ  
いくつ♪ いくいくいくイクイクイク♪」

田焼け 748  
「あ、は、あ、あ、あ、あ、は、ああああまん」

イク♪ イグツ♪ いくいくイグイグ、あ、はああ  
イシグううううう♪」

中出し、潮吹き。強く抱きしめながら痙攣。

低音アクメ。

色白 749

「(絶頂) おおおお♪♪ お♪♪ おおおおおお  
すげ、あ、と、畳じてるぜ♪♪ えく♪ はあ、  
はあ♪」

田焼け 750

「(絶頂) ほおん♪♪ おお♪♪ ほおおおお  
ああ、へそあちこ……はあ、ん、痙攣やば……  
くく♪」

軽く小突かれて、素直に「奉仕。

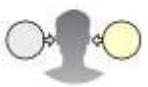
色田 751

「(低) おおへ せ、せこへ まへ」嬪びせずへ。  
ん、はあへ 生意氣まへ」、ひめいひめーしへ  
おへ、おお……せへ、おお……へ」

田焼土 752

「(低) おおへ えへ」おこなせじへ、はあへ  
しゃせーせじまへ、おへ、おおへ ヒタヒダニ、  
セーへも染み込ませじへ」

射精の余韻をサポート。



じつぐらと精液を膣壁に塗りたぐれたる感覚。

(20秒。優しく低く喘ごど、媚びる耳語め)

腰折『ぱめいぱめへ』『ぱめーへ』なじ腰へ)

色田 753

「れへる、れる、ふへ (★20秒)」

田焼土 754

「れへる、れへる、ふへ (★20秒)」

余韻。

色田 755

「はあ、はあ……ふへ、はあ……くく、  
まだかでござなへ」

田焼土 756

「はあ、ふへ……ふへ、はあ……はあへ」

田焼土 757

「ふーへ、やーだへ 離れねばねへ」

色田 758

「はあ、はあへ」

色田 759

「恆園わよーひへ 離れよやくねへ」

田焼土 760

「はあ、はあ、くあへ」

わやいと皿題。

色田 761

「はああ……♪」

田焼土 762

「さああ……♪」

田焼土 763

「なーあ♪ もひせり田るだらー。せ、まん」が、  
あむいあむい♪ トントンの、分かるか♪。」

色田 764

「はあ、はあ……ふ、はあ……はあ、はああ♪」

色田 765

「（こなごじや孕めねえよおひて、先っぽ吸いついて  
ぬ……♪」

田焼土 766

「はあ、はあ……はああ♪」

「一人、耳キスしながら欲しがる。

田焼土 767  
「（耳キス）ちゅ、ちゅ……♪よ。ちゅ……ヒツチ  
しょ。ちゅつちゅ♪」

色田 768  
「（耳キス）ちゅつちゅ♪ ん、ちゅう♪ パロパロ  
しょ。ちゅう♪ しょ、ちゅつちゅ♪」

田焼土 769  
「ねやねやあ。自称ドのくわく♪ 一発で終わり  
かあ。」

色田 770  
「ね!」パンチ♪」

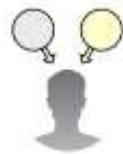
田焼土 771

「あせせ♪」

色田 772

「あせせ♪」

(二人一セツトが一旦終わって、普通の掛け合ひ)



「組とも、ナツキを抱えて立ち上がる。

挿入はしたまま、駅弁の体勢に。

《二人 ぐらっと揺れながら 縦め前/15cm <》

色白 773  
「ん、うえ? ちょ、無理すんな♪ うわあ♪

つぶねー♪ あはは♪」

田焼け 774  
「あひ、つわひとひと♪ マジ、こままで立てるの♪

力もちー♪」

色白 775  
「だひ!」それちまつた♪ (低) あ、ああ、つか、  
「」の体勢、ちんぽやつば、あ、ああ、はああ……♪」

田焼け 776  
「(低) あ、ああ……くく、わう!」なぐりちやなー♪  
ほらもひ一発……く~おこ、何念じてんだよ」

(相方見る)

色白 777  
「ふ、そつちもなんか念じてる?」

(相方見る)

田焼け 778  
「念じてる」

(主人公見る)

色白 779  
「……マジでロクな!」とねえかも」

(主人公見る)

田焼け 780  
「……聞いてるわ」

色田 781

「えー、だい」したまお放置するよお~」



田焼けナツキ、後ろの異変に気づく。

主人公が、やる二人増えた~。

《二人 その場で後ろを見る》

田焼け 782

「ん……わ、わああ~。」

相方に釣られて振り向く。なにこれ~。

色田 783

「え、なに~。わあ~。」

てんやわんやで色んな方向を向く。

(前見たり後ろ見たり)

田焼け 784

「増えた~。お前が増えた~。」

(前見たり後ろ見たり)

色田 785

「わ~」一人~。ええ~。」

(マイクを見る)

田焼け 786

「ずりーザタシ、も倍にしやー。」

(相方を見る)

色田 787

「やー、一語じやねーだらー。」

(「」からまた一人セシスト)

追加二名の主人公、それぞれのナツキのお尻側に

スタンバイ。



とても嫌な予感がするナツキ達、  
だつこされたままジタバタ。

(マイク見る)

色田 788

「うあへ、ちょ、ちょへと待てへ、一回下ろせー。」

田焼け 789

「なあ、だつこやおよひやへ、や、おせがださやへ、  
う、後ろでスタンバイしてお前へ！」

お尻の穴に男性器をあてがわれる。

色白 790  
「（後ろ見る）あ、ああばかばか！ ケツ広げんなー、  
ぜつてえそんつもりじやん！ お尻だめ、あーーー」

田焼け 791  
「（後ろ見る）やへ、わよひ、ちょひ、ほ、ほんと  
待てつてー、まんこ」だけでもやべるのに——

ゆづくりとアナルに挿入されていく。

色田 792  
「（前見る）ほ、お、お、おおおおおお……へ」

田焼け 793  
「（前見る）へ、お、おお、おおおお……へ」

すぱんつ

色田 794  
「おおひつへ」

田焼け 795  
「おおくつへ」

二人とも静かに絶頂しそう……

卷之三  
七九六

「は、あ……やば……まん」負けます……おふ

日焼け 797

「あ、あ……イク……お尻イク……お♪」

……など「」ろで体を持ち上げられて。下ろされる。

(体を上げて、一気にがくんと落ちる)

色白  
86/

日焼け / 66

「あ、今だぬヽヽ(低) んおヽヽヽ」

大きく上下に揺られ、二穴を圧迫される。

1秒1~2回ほどのピストン。

呂律が回らなくなるくらいの連續絶頂。

【  
揺れる】

色白  
008

「あつ、あつ、ああああ♪ だつ、め♪  
らめ♪ やぬええ♪ イつた♪ イキ、ました♪  
イキましたあ♪ おつ、おう♪」

日焼け  
801

「ねへ、へへ、へあああへへ あへ、あう、ふへ、  
うへ、おへ、おんへ、もうイつたへ もうイつたへ  
つのへ あへ、あつグああへ」

田焼土 802

「や、無理、下る、せ、あ、あああ、逃げ、  
逃げ、おねえ、おひ、イギ、イグ、イグ、イツ、  
グシム、（絶頂）おひ、おおおお、あ、ああああ、」

色田 803

「おひ、おひ、おひ、おおお、おぐ、おひ、おお、  
おくひ、あ、まん」イク、イクイクイク、

（絶頂）あ、あああく、あ、はあ、はううう、」

色田 804

「イクの、止まんな、まだイグ、おひ、イク、  
あひ、足ピュン、足ピュン、すみませ、  
足ピンド、イツツク……、（静かに絶頂）

おお……おおおお……、」

田焼土 805

「あ、あく、あく、む、むつむり、も、無理、  
あひ、あああ、ケツイク、おひ、イヒヒヒ、  
お、おひひひ、おひひひ、おひひひ、」

田焼土 806

「おひ、お尻、もひ、だぬ、あひ、まん」せもひと  
だぬ、あひ、あひ、せひ、あひ、ああ、  
イキまくシム、（絶頂）おひ、」

色田 807

「あ、あああ……ああ、また、やっぱ、まん」イク、  
瀧吹きしまく、（絶頂）おひ、」

【「」】モドリ下で揺れ】

次ページで脱力します。

ピーストーン - 田嶺くなる。

二人、脱力してへたり込む。



《耳元とほいべの間あたり、だいじに抱きつい

#### イメージ》

色田 808

「おお、そくう……は、はあ……う、あ♪」

田焼汁 809

「おおお、ふええ……あ、はあ、はああ……♪」

色田 810

「後ろ、初めてなのこいへ、激しこいつの、

「ぱかあ♪」

田焼汁 811

「んはあ、はあ……ひへへ」

田焼汁 812

「夢の中でも、やつたらダメな」とあるだろお♪  
お嫁に行けなくなつたおひよお♪」

色田 813

「はあ、はああ……ふい、はあ……ああ、あああ♪」



結婚するのにな。

#### 《二人 耳元く だる絡み》

色田 814

「ふう、ううしゃえ、だつたら、責任取れえ、  
ねねい、ちんぽの形、お尻でも覚えたまつたあ♪」

田焼汁 815

「せあ、せあ……う……おひへ、うう、はあ、あ、  
はあ……はあ」

田舎土 816

「(豔やか) せせら、おたのしかかる。前と後ろ、回転  
に甘美しされたら、迷ひなつかめうだらうだらー。」

田舎土 817

「さあ、さあへ、え、ね……さあ、え、い、さあへ」

田舎土 818

「(豔やか) くわへ、だつ」われたまほ、ト品な呪<sup>ミヅ</sup>」  
アクメ、洪むちおつかもへ。」

田舎土 819

「さあ、さああへ」

田舎土 820

「わいつなつてむ、ちやんとだつ」つててくれよ。」

田舎土 821

「金圓<sup>カネイチ</sup>ある、かかつてもやがれへ」

ハハハハ<sup>ハハハハ</sup>煙り。

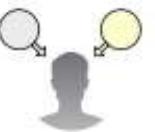
(▽合わせ)

田舎土 822

「う、イケメンちんせへ、くわへ」

田舎土 823

「う、イケメンちんせへ、くわへ」



抜けた前まで体を持ち上げられ、一気に奥。

《二人 締め前/15cm <》

(まだ持か上げられて、一締め下へ)

色田 824

「(低) はい……はねいへ」

田焼土 825

「(低) はい……はねいへ」

そのままでドアステン再開。

一秒2回ほど、やいやよろ呼んで重たい、  
今作で一番ラブアド恋赦のないドアステン。

【】かわ、離れて戻れをしながら聞ぐ。

快感に悶えて、上戻たり戻したりも感ぜつて】

田焼土 826

「ねい、ねい、ふい、ねい、あい、ああ、ちんぽ  
好や、お前のちんぽ好やこへ」

色田 827

「はい、ああんい、えおい、おい、おお、は、あ、  
あああああ、う、ううう」

色田 828

「うあ、うあ、うめんなわこへ、足立へ、もひ  
足立へこへ、ねい、ねおへ、だいじ無理へ」

田焼土 829

「はい、ねい、ねふい、せい、あい、あい、ああへ  
んい、せい、おくい、ふい、ふい、ふい、はあへ」

田焼土 830

「もヽカはヽんやあヽ、だヽしゆヽ、ねヽ、  
(笑) カヽゼだヽで、だヽ」してみるヽ、おくヽ、  
やヽゼ、[冗談]、冗談だヽてヽ、あヽ、あヽあヽ」

色田 831

「あヽ、あヽ、せヽ、しヽ、そヽ、そヽ、せヽ、  
はヽ、だヽ、むヽ、いヽ、こヽ、をヽ、せヽ、よヽ、  
んヽ、せヽ、はヽ、あヽ、えヽ、そヽ、せヽ、せヽ」

色田 832

「せヽ、キヽ、トヽ、サヽ、エヽ、カヽ、ヤヽ、ニヽ、  
すヽ、ハヽ、エヽ、カヽ、モヽ、體ヽ、ガヽ、モヽ、  
おヽ、おヽ、スヽ、イヽ、はヽ、

はヽ、

田焼土 833

「おヽ、やヽ、無ヽ、無ヽ、もヽ、カヽゼ、無ヽ、  
おヽ、おヽ、ルヽ、おヽ、おヽ、おヽ、  
ムヽ、トヽ、イヽ、ムヽ、

次ページド縦頭スペース。

絶頂へスペード。

(ぐつねやぐねや。セリフ通りじやなくトロト)

色田 834

「お、お、お、おお、おおひへ、ああやせ、無理  
イク♪ 全部イク♪ ああイキ死ぬ♪、んん精子  
ちょ一、ひ、じへ、あ、あ、あ、あああああいく、いく  
いくイクイクイグイグ♪ ケツイク♪、あひへ  
イツシジハシ♪、」

田焼士 835

「お、お、お、あくうへ、一緒にこじへ、好やれ  
しゃれしゅきしゃれ、ああ大好き無理♪ もひ  
戻なんあいへ、は、あ、あ、あああああいく♪  
無理イク♪ イクイク♪ あひ、あひ」イグ♪、  
イツシジハシ♪、」

二人、二六回目中出し。大量潮吹き。

全てを出しきる低音アクメ。

(トかの哭き上げられる感じに大きく跳ね上がる。  
だんだん脱力)

色田 836

「おおひへへへ、おお、おおおおおへ、んく、くへ、  
くへ……へ、は、あ、は、ああおへ」

田焼士 837

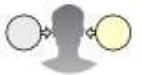
「せおえへへへへ、おおおおおおへ、あひく、  
わづ、わ、ぐ、ああ……へ、せああへ」

【「」もドンペルノ撃れ】

二人、完全に放心状態。なんだかずつと入ってくる。

本能で耳舐め。ふわふわ。

余韻だけでもたいてい、潮吹きが小ぐれ出る。



### 《二人 ぐつたりと耳元く》

色田 838

「はあ……ああ……れる、れる、はあ♪ れろれる、  
れる、れる……ね、おお……れる、れる……おお……  
れろれる♪ ほつ、おお……♪ れる、れる」

田焼け 839

「はあ……「ハ……はあれる、れえろれる♪ お……  
れる、れえる……ふ、おおお……れえる、れる……  
はあ、れるれる♪ は、ああ……れる、れえる」

深い絶頂から戻つて深呼吸。（意識を失っていた  
人が『……はあ』と息を吸つて起きるイメージ）

耳キス。

色田 840

「（深呼吸） ……ずいじアクメしてた……♪ やつと  
戻つたあ♪ くく♪ ん、ちゅ……ちゅ……  
ああ……ちゅう、れる、ちゅ……ちゅ、はあ……♪」

田焼け 841

「（深呼吸） ……はあ……ちゅ、ちゅう……  
れる、ちゅ……まだなんか、軽く入ってるわ……  
んん……痙攣ともんね♪ ちゅ、んはあ……♪」

色田 842

「わいわよこ、」のままでいいか? はあ……  
大好きなお前に、挟まれるとかや……夢じやねえと  
無理だしね。」

田焼け 843

「はあ……ん……ん……(囁き) あつたけえ……  
はあ……ふう……ふく……はあ……ん……」

田焼け 844

「外も中も、はあへ やーんぶあつたけえ……」  
「はあ、ん……はあへ」

色田 845

「な、もつと抱きしめらへ んふふふ……んへへへへ」

田焼け 846

「はあ、ちゅ……ん、ちゅうちゅ……へ」

田焼け 847

「あーあ。お尻も経験したかった……う……。  
ん、可愛かったじやねえよ……へ 眼科行け、  
ばかあへ」

色田 848

「はあへ ちゅうちゅへ んはあへ ちゅうちゅへ  
はあ、ちゅうへ」

色田 849

「んーへ 大好きだぜへ ちゅ、はあ、ちゅうちゅへ  
んへ、ちゅへ、ふふへ ちゅうちゅへ」

田焼け 850

「ん、ちゅへ ちゅうちゅへ ん、ちゅへ くすへ  
んーちゅへ はああ、ちゅうちゅうへ」

(耳キスドワーディトウト)

(3-2-END 6332 ページ 40枚)

(畠田 3166 ページ 20枚 田嶽士 3166 ページ 20枚)

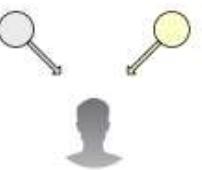
★「」のトラックは一人五役です。

それぞれメイン位置は固定されており、位置が名前になっています。

ここでは、『色白』は『左耳坦』、『日焼け』は『フェラ坦』です。

途中から『右耳坦』『舐め坦』『キス坦』のナツキが追加で登場します。

休憩をいっぱいとつて挑みましょう。



ヒトモヤリ切った感を出している三人。

### 《斜め前/30cm》

左耳坦 852

「せせへへシテくトイで感じだな♪」

フニラ坦 853

「やうやあんなに分身したうな♪」

左耳坦 854

「くすくす もろもろ夢も終わりだる~。」

### 《斜め前/10cm タイヘン近づく》

左耳坦 855

「最後……何してほしこ~。」

フニラ坦 856

「えー~。」

あと一発だけ……。

左耳坦 857

「ん~、あはは~」

フニラ坦 858

「くすくす 憂しいやつ~。」

左耳坦 859

「あー~、」奉仕的な~。」



### 《フニラ坦 股間の位置へゆっくり移動》

フニラ坦 860

「しょーがねえなあ~ ..... 手突いてやるよ~  
はあ、ん、ふ~.....くすく~」

### 《左耳坦 左耳元へゆっくり移動》

左耳坦 861

「横になつてね~ ..... そいつ~ 大の字で~、  
H様気分~ くく~ 全部アタシに任せな~。」

しゃばし男性器を嗅ぐ。

フニラ坦 862 「くそくそへ、 はあ、 やっぱお前んチンポの匂い好きだあ……♪」

(40秒。男性器をいろんな方向から嗅ぐ。  
わざと吐息を出したり、微笑んで見せたり)

フニラ坦 863 「ん、 くそへ、 はあ、 くそくそへ、 ああへ、 くへへ  
くそくそへ (★40秒)」

(60秒。汎用の優しい吐息BGV)

左耳坦 864 「はあ、 はあへ (★60秒)」

チン嗅ぎの様子を耳元でねつとりと燐る。

左耳坦 865 「やつぱ好きへ、 くそくそへ嗅がれんの」

左耳坦 866 「……くそへ、 変態へ」

(わざと吐息)

左耳坦 867 「はああ……あつたけえ吐息がへ、 ちんぽに射たつ

てべへ……」

「触つてねえのに……くそくそへむへつ……  
しゃぶらやすこ形になんだよなあ……へ」

左耳坦 868 「」のヌロカサヌロへ

左耳坦870 「んー？ しゃぶって欲しいのか？」

二十九

左耳坦 871

「んう、お前がどうしてもつづ一なら——」

普通にしゃぶり始める  
超遅いヒヌエンテ

ノリト無8/2 | せめあむ

(股間見る)

左耳撫<sup>8</sup>/3

フジラ押874 | むちゅふ、ちゅほ、ちゅふ……ちゅほ、ちゅほ[.]

(耳元戻る)

左耳坦 875

(股間見る)

左耳担 876

(しゃぶりながら見上げる)

フジラ田 877

「ちゅほ、ちゅふ……ん~? ……」やあ♪ あむ♪

(耳元戻る)

左耳坦 879

「ハーデルトやルーテンの間に」

(40秒。超遅いピストンフューラの続き。)

壁折『ん♪』『さあ♪』など瓶や吐息。股間見る)

フェラ坦 880

「ちゅぽ、ちゅぱ♪(★40秒)」

「じつでもおねだりさせたい色白ナシキ。

左耳坦 881

「じやあせ、咲」

左耳坦 882

「わい、咲、舐めしゃぶついやつかられ……おねだりしよ♪」

左耳坦 883

「舐めてつよ♪ あ、違う。舐めてくだれこひよ♪」

左耳坦 884

「ダメ♪ くだれい村山♪ (叫口) 命令するな♪

えふふ♪」

左耳坦 885

「舐めて♪、くだれこひよ♪ (嬉) ん～♪

(囁き) いいぜ♪、さあむ♪」

(40秒。ゆったりと癒して溶かす耳舐め)

左耳坦 886

「れえる、れえろ♪(★40秒)」

(舐めながら見上げる)

フェラ坦 887

「はあ♪ すぐえ返り返りしる♪ ちゅ♪

ベロ舐めしいやろつか♪」

(舐め上げる動き。下から上に顔を動かす)

フェラ坦 888

「んれえええ、るい♪ んれえええ、るい♪」

フェラ坦 889

「くす♪」れせ、『べの♪』ひひすの壁、

裏筋引つかけんのが、氣持ちいいんだよな♪。」

フェラ坦 890

「れえええ……るい♪ ほりびくつでしたあ♪

お前のちんぽ分かりやすー♪ あはは♪」

(30秒。舌を伸ばして舐め上げる動きの続き。  
ゆっくり舐め上げたり、時折『ぺぬ・ぺぬ・』と  
連續で裏側をくすぐつたり)

フニラ型 891

「んれええええ、るひ～（★30秒）」

色白ナシキは一回耳舐めストップ。

また吐息たっぷりに煽る。

左耳型 892

「くす～、～～～ね～吐息漏れてんやー～」

左耳型 893

「最高か～」

左耳型 894

「つたりぬーだら～」

左耳型 895

「母口しやぶついたら、上手になるに決まってんじや

ん♪」

左耳型 896

「お前の喜ばせ方、こいつ分かられちまつ  
たあ～」

（40秒。最初より少しペースの早～フニラ。

夢中に舐めしやぶつて弄せや～）

フニラ型 897

「あむ～、ちゅ～、ちゅ～（★40秒）」

（股間見る）

左耳型 898

「くす～、夢中ぢぢんぽしやぶついたやつせー～」

（耳元戻る）

左耳型 899

「あじつ見てみ～、また尻尾くねくねしてん♪」

左耳型 900

「本人は眞理こじねえけど、『ちんぽしやぶつの  
だーじすき～』って、一発でバレてんだよなあ～」

「ん、や、こいつか見んな～ アタシの尻尾は見るなあ～  
ん～～～（囁き）見なくても分かるだろ、せか…～」

→まごい優しい耳語の続歌。

左耳型 902

「れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、  
れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、  
れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、れぬ、」

フヒト型 903

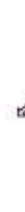
「ねえ～～ あんせおこ～～ あめ～ イケメン  
あんせ好き～～ あめのかめいかめ～ ああ  
カウペー垂れてる、もひたじね、んれんれんつ、  
あむい～ あめ、あめ、あめ～」

左耳型 904

「せあ……ねも語ぬものか～。」

左耳型 905

「ふふふ～ じやあアタシが——」



ナシキ増えた!

《右耳型 右耳の幅/30cm から発音場》

右耳型 906

「だーお～ アタシが語ぬのか～～」

(唇のながい驚く)

フヒト型 907

「ん、ん～～～」

《左耳型 少し脣に近づく》

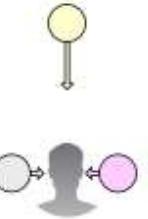
左耳型 908

「せい～～ ねめ～～ ねた感じた～～」

(一囁く耳やおと細縫に響く)

フヒト型 909

「響やったのかも～」



### 《右耳坦 右耳元へゆつくり移動》

右耳坦 910  
「お前の妄想力ならあ、アタシ一人増やさくらば、  
わけねぇよな～♪」

### 《左耳坦 左耳元へ戻る》

左耳坦 911  
「むー♪」  
右耳坦 912  
「お、焼きもわ～♪」  
左耳坦 913  
「わザーレー♪」  
右耳坦 914  
「あはせ～ ……なーあ、」いちも腕枕♪」  
左耳坦 915  
「アタシも忘れんな……♪」  
右耳坦 916  
「ふふふ、肩に手え回して、抱きしめてくれよ♪」  
左耳坦 917  
「つこでこ頭も撫でる～♪」  
  
両側の二人をなでなで。  
右耳坦 918  
「ああ、ふ、はあ～ ……こいやあ～…♪」  
左耳坦 919  
「ふ～、ふふふ、 ……こいやあ～…♪」

匡側一人、主人公に体を擦りつけながら耳舐め。

(の〇秒。ゆうたらと、静かで温かい耳舐め。

ぬれぬれ帽も黒帽。盤折『こやあ』と並べた帽)

右耳舐 920

「れる、れる、こやあ…… (★の〇秒)」

左耳舐 921

「れる、れる、こやあ…… (★の〇秒)」

(見上げる)

フ ハ ハ 耳 922 「わあ、超イチャつぱじやーん、あつたかそー。」

フ ハ ハ 耳 923 「余暉」からひさし、マーキング合戦しつづけ

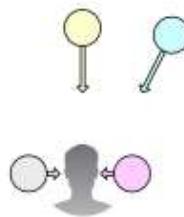
興奮したメスの「こすり」

フ ハ ハ 耳 924 「おこねえかー。おこなー。」

(股間見る)

フ ハ ハ 耳 925 「へあ、かくせで返事をうなぐ、変態。」

フ ハ ハ 耳 926 「お、ここや。」せきり口をあじていたり。



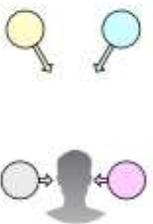
もひとナシキ壇えたー。

『舐め耳 右締めト/30cm かくせ場。フ ハ ハ 耳 と

回し廻れドア』

舐め耳 927 「おこねえかねえだよなー。」

フ ハ ハ 耳 928 「おわあ増やすなバカー。」



### 《舐め垣 やや正面寄りに移動》

舐め垣 929

「彼女にダブルフロウされたじんだいトヤーヘー」

### 《フロウ垣 黒やれるよい」やや左側へ》

フロウ垣 930

「ハハ、意味分かんねえよ……」

(前ページのマジコブ中に入れる右側。耳舐め中)

左耳垣 931

「れる、つかなんだ裸エプロンハハ~」

舐め垣 932

「ハハ~。」の趣味」

左耳垣 933

「れるれる、納得だわ。れるれる」

フロウ垣 934

「おこひはユキーダ」

(前ページのマジコブ中に入れる右側。耳舐め中)

右耳垣 935

「れる、といへ」のポロリヒトリカジナーハ、れる」

(フロウ垣のせいで見る)

舐め垣 936

「お前せ~」

(全身)を覗かれるように動く

フロウ垣 937

「アタシはせひ……田焼け跡が」ふな感じド――」

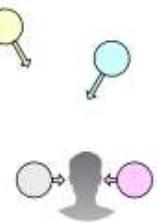
その質問はブツツ。

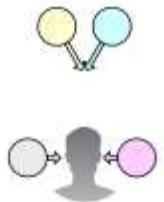
舐め担当ナツキ、隙を見てすぐに壁へる。

《舐め垣 股間の位置、やや右へ》

舐め垣 938

「さあむひ~」





負けじとフェラ担当ナツキも咥えに行く。

『フェラ担股間の位置、やや左へ』

「せへ、おう一やー。取んなばかっ」

フェラ組、口だけで男性器を取り合う。

(まるでパン食い競争のように大きさに動く)

図書館940

「ちんぽアタシのー」

語文問題 942

フジワラ 943 「まだしやぶんの一」

「一九四九年九月號」

フ ハ ラ 拙 945 「あ～ー。」

舐め細 946

フジツボ947

甜の田 948

「あ～あ～～！」

(50秒。)  
一本の男性器を二人で舐めしゃぶつて

取り合うフェラアドリブ。楽しくうるせく)

舐め撫 950 「ちゅ、れる♪ あ～！ れる（★50秒）」

「あ～♪ れるれる♪ ん～♪ (★50秒)」

「ヨーラ組が本当にやくて耳舐め組が笑う。

(3ページ前の耳舐めアドリブの終点が「」)。

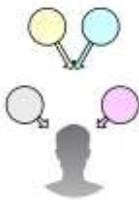
笑つて耳舐めが出来なくなるイメージ)

右耳坦 952 「れる、くすくすくす♪」

左耳坦 953 「れる、あははは♪」

右耳坦 954 「かんぱの方うるわ、あはは♪」

左耳坦 955 「口だけでかんぱ取つ合つてる、えぐいな♪」



耳舐め組二人、主人公の様子を見る。

《耳舐め組 少し前に出て顔を見る》

右耳坦 956 「(笑) 大丈夫かー?」

左耳坦 957 「(笑) ああ、この顔は大丈夫そう」

右耳坦 958 「だな」



《左耳坦 左乳首へ》

左耳坦 959 「くすくす♪ うちは平和でいいや♪ キレイに半分こ

出来る♪♪」

《右耳坦 右乳首へ》

「んーちゅ♪ 乳首もお、一人一個ずつ♪」

「はは♪ 半分こー♪ えるれるれる♪」

「れろれるれる、ちゅ♪」

右耳坦 960

左耳坦 961

右耳坦 962

(の〇秒。つこばんだり、舐め転がしたりして、  
可愛がるよいつな乳首舐め。楽しそうに)

左耳垣 963

右耳垣 964

「わゆう♪ れるれる♪ (★の〇秒)」

取り合ひが止まる。

フニラ垣 965 「オツケ分かった。仲良くなれ~」

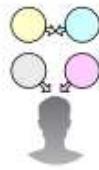
舐め垣 966 「こうちも半分」。。」

フニラ垣 967 「わゆう♪ ブロドサンディッシュ♪」

舐め垣 968 「オツケー♪」

(原上さる)

フニラ垣 969 「お前もよく睨むよ~♪」



《フニラ組 男性器を挟むように向かい合ひ》

フニラ垣 970 「キン立ちした先つせをー……」

舐め垣 971 「くそ、うなぎで挟み込んでー……」

フニラ組、男性器の先を舌でぐるぐる。

フニラ垣 972 「んれえええ♪ れるれうれうれう♪」

舐め垣 973 「んれえええ♪ えるれるれるれる♪」

フニラ垣 974 「わゆ、カリ首もなぞつてー……んれええ♪ れるれるれる♪ ふわゆうわゆうわゆう♪ はあ♪」

舐め垣 975 「れわわわわわ、んれええ♪ れるれる、れえる♪ かるーく手でシゲンじたほつが、好きだよな?」

(40秒。亀頭を舐めくすぐるようなフロフ。

夢中な声を漏らしつつ)

フロフ坦 976 「れろれる♪ んれ、れ♪ (★40秒)」

舐め坦 977 「んれえ♪ れるれる♪ (★40秒)」

(乳首舐めアドリブ中に入れるセリフ)

右耳坦 978 「くちゅ♪ おーーー♪ 腰踊つてんぞー♪

はせ♪ やべえかー♪ れー♪ れるれる♪

(乳首舐めアドリブ中に入れるセリフ)

左耳坦 979 「あゅ♪ 金髪に♪ ーーー♪ と睨られながらあ、

乳首とあんぱ、舌で♪ ちゅ♪ あよ♪ れるれる♪

(フロフアドリブ中に入れるセリフ)

フロフ坦 980 「ふやけた顔しゃがって♪ こっちもたまんねえ  
ううの♪」

(フロフアドリブ中に入れるセリフ)

舐め坦 981 「くく♪ わすがに効くか? ちんぽ負けんな

よ~♪」

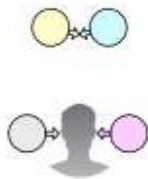
「」の後、しばしアドリブ分で四人同時責め。

全員のアドリブタイムが終わって。

《耳舐め組 それぞれの耳元に戻る》

左耳坦 982 「ちゅ……はあ♪ ふう♪」

右耳坦 983 「ちゅ……ふう♪ はあ♪」



「フニラ組、亀頭舐めが終わり、キス主体に」。

(45秒。キスマインのフニラ。静かに、  
愛らしく、勃起だけ保たせるフニラ)

フニラ坦 984

「ちゅ～ れるちゅうちゅ～（★45秒）」

舐め坦 985

「んれ、ちゅ～ んちゅう～（★45秒）」

焦らす、じりくと纏む。

左耳坦 986  
「射精近々の～。最後、どうやつてしま～。」

右耳坦 987  
「ふー～。くす～ だらうと睨つた～

（囁き） キスも欲しいんだね～」

左耳坦 988  
「バカッフルみてえな、ワブワブのベロチュー、  
だつか？ はは～（囁き） チューラーしながらのが、  
元気なのじ一ぱじ出るもんな～」

右耳坦 989  
「キスするアタシも唇べじや～ば～。お前の想像力

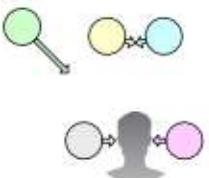
なうよ～だら～」

左耳坦 990  
「せ、」

（▽合わせ）

左耳坦 991  
「やーーの～」

右耳坦 992  
「やーーの～」



ついに5人目！

《キス坦 左斜め前/30cmあたりに登場》

キス担 993

つたく♪

右耳道  
994

左耳担  
995

フニラ坦996  
「も」頭亀一

《舐め担当》  
正面やや横から竿を舐める体勢へ》

997

キス担  
998

左耳撻

(▽合わせ) やや雰囲気を変えつつ。

右耳担  
1000

左耳坦 1001

フリード 1002

舐め坦 1003

キス担 1004

次ページ、5人一斉に同時舐め、言葉責め。

実は全員、手マンで一緒に気持ちよくなっている。

甘くボーカルシユな囁き声が、あちこちから響く。

### 右耳坦 1005

「は、れる♪ れるれるれる♪ あ♪ れるれる♪  
あ♪ れるれるれる♪ セーしちょーだい♪  
れるれるれる♪ あ♪ セーし♪ れるれる♪  
かっこいい射精♪ れるれる♪ じぴゅつて♪  
れるれるれる♪」

### 左耳坦 1006

「あ、れる♪ れるれるれる、すき♪ れるれる♪  
だーいすき♪ お、おお♪ だいすきだぜ? れる  
れるれる♪ ん、んん♪ れるれる♪ 結婚しよ♪  
えへへ♪ れるれるれる♪ んー? んふふ♪ はあ、  
れるれるれる♪」

### フェラ坦 1007

「はあむつ♪ ジゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ、んん♪  
じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ、んずじゅううう♪  
ふああ♪ ちんぽかたあい♪ はむ♪ ジゅぽじゅぽ、  
じゅぽじゅぽ、ん、んん♪ ジゅぽじゅぽじゅぽ  
じゅぽ、ん♪」

### 舐め坦 1008

「れるるつ♪ れるれるれるれる♪ んれ、れ、れ、  
れ♪ んれえええ♪ へへ♪ ぴゅつぴゅ頑張れー♪  
れるれるれる♪ いっぱいゅつぴゅ♪ んちゅ♪  
イケメンちんぽ頑張れ♪ ちゅつちゅ♪ はあ、れろ  
れるれるれる♪」

### キス坦 1009

「んーちゅ♪ れるれる、ちゅう♪ もつとナユーハ  
れるれる、バカツブルなチユーしよ♪ ちゅつちゅつ  
ちゅ♪ あ、ああ♪ ちゅつちゅう♪ へへ♪  
れるれるれる♪ はあ♪ んちゅつちゅ♪ 愛してる  
ぜ♪ んちゅう♪」

主人公、だんだんと射精に近づく。

左耳、右耳、キス坦が会話。やるやりハヌム。

(会話中も他のナツキの責めは止めたなごのど、  
尻田のマツリップを収録して、マツリップ内にセリフを  
差し込む形で編集しました)

(全員30秒、前のセリフの責め/誰かの戻事)

左耳坦 1010 「(★30秒)」

右耳坦 1011 「(★30秒)」

フヒト坦 1012 「(★30秒)」

舐め坦 1013 「(★30秒)」

キス坦 1014 「(★30秒)」

(トドコガの途中で入れる会話なので、  
アドリブの勢いを維持して譲つてください)

左耳坦 1015 「れわれわ イキそうか? れる♪」

右耳坦 1016 「れる♪ んん、アタシもお れる♪」

キス坦 1017 「れるわよ、アタシもお れる♪」

左耳坦 1018 「れる♪ くく♪ 気付いてねえの? みーんな、  
手マハド木ナつてんや♪」

キス坦 1019 「お前と一緒にイキじゃねえ♪ 一緒にがいじ♪  
(低) あ、せああ♪」

右耳坦 1020 「(低) オスボーバーのマジ効く♪ おーやせ♪」

左耳坦 1021 「(低) ああ♪ みんなで氣持ちよアクメしようつた  
せあ♪」

本題にワステの「アーストスペード。絶頂へ向かう。  
(全員がちょいと20秒後に絶頂するように)  
セリフを組み立てます)

(20秒間、絶頂へ向かうピストンワウ)

フェル型 1022 「んい、 そい、 んい、 んい♪ (★20秒)」

(20秒間、絶頂へ向かう舐めワウ)

舐め型 1023 「れろれる、 あ、 あああ♪ (★20秒)」

(最初の10秒間、『あ』寄りの低音で舐め。  
残り10秒、イキそつな声でカウンタダウン)

左耳型 1024 「れるれる、 あ、 れる、 ああ♪ (★10秒)

「」一ね、 ょーん、 ゃーん、 ニーん、 ニーん……

まあ……ゼロ♪」

(最初の15秒間、『お』寄りの低音で舐め。  
残り5秒で『イクイク』口唇を噛む)

右耳型 1025 「れろれる、 お、 れる、 ふおお♪ (★15秒)

お♪ イク♪ いくいくイグイグイグイグ♪

イギおお♪」

(最初の10秒間、『ん』寄りの低音で舐め。  
残り1秒で『丑トト♪』)

キス型 1026 「れらちゅ、 ん、 んん♪ (★10秒) 丑トト♪」

全員が同時に絶頂、幸せ潮吹き。

低音でゆるやかなアクメ声が混ざりあいながら、優しいキスと耳舐め、精液を吸いつくすフニフ、『ひゅうひゅ』サポートなど、あらゆる甘い愛撫の応酬。最高の射精を味わう。

フニフ担当、口内射精＆低音アクメ。

何度も出る精液を受け止めながら、最初は大胆に、最後は優しいバキュームで一滴残らず吸い取る。

フニフ担当 1027

「（絶頂）ん、んんんんん、ん、ん、んんんん、  
すじゅうううう、んん、じゅぱんじゅぱん、  
ん、んん、んん、じゅぱんじゅぱん、じゅぱんじゅぱん、  
ん、すじゅううう、ん、すじゅううう、ん、  
ちゅうううう、ふう、んちゅうううううう、ん、  
ちゅぽ、ちゅぽ……んちゅうううう……ちゅぽん、」

舐め担当、低音アクメ。たっぷり褒めながら最後まで射精を促していく。舐めも欠かさず、だんだんと落ち着いていく。

舐め担当 1028  
「（絶頂）あ、はあああ、すげえ出でる、  
んちゅ、かつけえ、れるれる、射精か！」  
ぞ、れるれる、じくんじくんつ、せせ、  
まだ出てる、れる、氣持ちいいな、精液止まん  
ないな、れるれる、はあ、かつこじ……  
れるれるれる、れるれる、れるれるれる……」

残り3人は次ページ！

左耳担当、吐息たつぶりの囁き低音アクメ。

アクメ声で『びゅつびゅ』サポート。後半は優しい囁き『ぴゅー♪』。だんだん落ち着く耳舐め。

左耳坦 1029

『ひゆー』  
たんたん落ち着く耳舐め

（絶頂）お？ ほおおお♪ ひゅつひゅつ  
ひゅーー♪ どひゅ、ひゅく、ひゅるる♪ どひゅー、  
どひゅー、れろれれれる♪

(囁き) ひゅ――――――――――♪ 全部吸つ  
ても、ひゅ、ひゅ――――――――――♪ せあ、  
れるれるれる、れえられる、れるれる、れるれる♪」

右耳担当。吐息たっぷりの囁き低音アキメ。最初は甘い声で謝る。最後にかけて射精を促

優しい耳舐め。落ち着いていく。

右耳担  
1030

「（絶頂）ほつ、おおおお♪ ほお♪ イキました♪  
ごめんなさ、ああ♪ 潮吹き止まんね♪ お、お♪  
すげ♪ ああ、幸せえ♪ ザ「まんこで」めんなさ、  
はあ♪ れろれる、イケメンちんぽ好き♪ れる♪  
お前のちんぽ大好きい♪ れろれるれる、れえるれる、  
れろれる、はあるる、れる、れえろれる、れえる♪

キス担当、目の前で低音アクメ。夢中で口内を

幸せそうな声を漏らしながらちゅつちゅ愛情キス。  
かぎ回すヘロキス 後半はたんたん落ち着いて

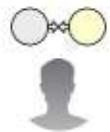
「（絶頂）おお、おひ、おおお♪ はあ、れろれる  
れるれる♪ んん、れるれるれろれる♪ はあ♪  
えへへ♪ んちゅううう♪ はあ、れろれるれる♪  
んべーー♪ えるえるれるれるれる♪ あはは♪  
んちゅつちゅつちゅ♪ んーちゅ♪ ふふ♪  
ちゅつちゅ♪ はあれろれる、れえるれる、ちゅ♪」

キス担 1031

口焼けナシキ、顔呪わつな顔で田の前く。

(吸こきつて『あをせへ』ストカラの続)  
《ハニト型 口を露じたおもむかね上がる》

フニト型 1032 「ふー、ふー、ふーへ」



色白ナシキ、あかせやロ口焼けナシキの口ばく。

《ハニト型 やまね/20cm <》

左耳型 1033 「あ、精液くれ……へ」

《黒ねだるみハニト型 やまね/20cm <》

フニト型 1034 「ん、んへ」

ねいじき、精液をシニアする口移しキス。

左耳型 1035 「れえる、れえる、れえる、れるれるちゅ～」

フニト型 1036 「れえる、れえる、れえる、れれれるちゅ～」

色白ナシキが吸いひく。

左耳型 1037 「えすじゅわわわ～」

(口開けながら喋る)

フニト型 1038 「ああん～、じぶ取りすま～」

吸い返す吸いひく。

フニト型 1039 「ああん～、すじゅわわ～」

(口開けながら喋る)

左耳型 1040 「あああ～、ヤースを取られたあ～」

樂しゃべ。

左耳垣 1041 「あはせ～」

フニハ垣 1042 「あはせ～」

「二人、横田で主人公を見ながら。」

【「」から、田を絡ませながら壁】

左耳垣 1043 「眠く～。」やな出たんだ! やく～。」

フニハ垣 1044 「れるれる、れるれる、れるれる、れるれる、」

フニハ垣 1045 「ヤローみて～。」く～。おじり～。」

左耳垣 1046 「れるれる、れるれる、れるれる、」

【「」もど田縁めか】



《二人 キスし終わり、それぞれの耳元へ移動》

左耳垣 1047 「んー、ちゅ～、ふう、ふう……～。」

フニハ垣 1048 「んー、ちゅ～、ふう、はあ……～。」

【時に精液の「」いくん音を聴かせる。熱い吐息。】

左耳垣 1049 「ん、「」く……「」く……ん～……「」く……」

「ふああ～」

フニハ垣 1050 「ん、「」く……「」く……ん～……「」く……」

「ふああ～」

左耳型 1051 「うたうーわせへ」

右耳型 1052 「丑しやつたなー♪」

(軽く回った見る動作)

左耳型 1053 「あれ、やつこや他のトタンせへ。」

右耳型 1054 「せせへ 暗想力も限界だよなへ。」

左耳型 1055 「くす、そつこい」とかへ 体も張って、頭も使つて。

マジドお疲れ様だなへ。」

右耳型 1056 「いそへ 楽しかつたへ。」

左耳型 1057 「なーへ。」

【優しい甘穎。やんやん時間。】

左耳型 1058 「( | 曜吸)」

右耳型 1059 「( | 曜吸)」

【( )かひ、眠りを誘う優しい小唄】

左耳型 1060 「な、わつかに抱かれぬへ。」

右耳型 1061 「( )人ほとおし、わよーひへ。」

左耳型 1062 「くくくへ。」

右耳型 1063 「ふふへ。」

左耳型 1064 「今度は」を寝るかあ」

フニト型 1065 「くくく、全然お別れじゃねーよ。」

起きた後もあそだね。」「の夜懲らすせよ。」

左耳型 1066 「へへへ、夢で丑しかけた分は、現実だとまだ、

金玉に残りつつあるや。」

フニト型 1067 「わすがのお前でも、一榮めどじゅう一つ丑しかけ

かや。」

左耳型 1068 「せせへ、たまにはそれもいこうじやねーの?。」

フニト型 1069 「はへ、限界まで詮ね込んだ精液を。」

左耳型 1070 「画じへりごびつあよびかよの眠落ちまくい」とへ

(▽合わせ)

左耳型 1071 「ぶるよ、ぶるよ、ぶるよいへへへ」

フニト型 1072 「ぶるよ、ぶるよ、ぶるよいへへへ」

左耳型 1073 「へへへ、セヒトアマサカココへ」

フニト型 1074 「樂しみだなへへ」

左耳翼 1075 「…………せぬへ、ハルヒルヒトセだか？」

右耳翼 1076 「田代のもの、樂でなれどへ

アベノミコトのたぐへ」

左耳翼 1077 「シテヨシニシテシモ一はへ、ズヤムヘ

右耳翼 1078 「ズヤムヘ、轟でも騒異でも……歎ヒルモサヘ」

左耳翼 1079 「…………おせへ、ズヤムヘ」

右耳翼 1080 「…………おせへ、ズヤムヘ」

(4-END 4572 ナリ 1114 稈)

(左耳翼 1748 ナリ 320 稈)  
(右耳翼 1377 ナリ 335 稈)

(左耳翼 635 ナリ 225 稈)

(左耳翼 480 ナリ 185 稈)

(ナメキ 332 ナリ 49 稈)

露朝。

主人公とナシキ、やつと田原めむ。

お互いぐしゃ濡れ、火照りと興奮を感じる。

《◆右耳/0cm ハーフマスク着》

ナシキ 1081 「すーすーすーすーん、んん…」

主人公 すかわすナシキに覆いかぶさる。

《◆正面/10cm 覆いかぶされる》

ナシキ 1082 「あ……おせよ……ん……ん…」

挿入。射精。潮吹き。

《◆左耳/0cm》

ナシキ 1083 「(低) あ、はあああああ……」

ナシキ 1084 「お、おおへ、ふへへへ マジへ 王じゅへ  
はあへ、母じゅへへへ はあはあへ」

ヤツツの途中からゆうたら♪ストン開始。

ナシキ 1085 「くーケへ アタシも同じ気分だ、あ、ああへ 待て、  
いつだせいかへ (低) お、おおへ ふ、おおへ」

ナシキ 1086 「ナニカへ 出しながらゼリーポン」  
母じゅおひよおへ おおへ はあはあへ」

ナシキ 1087 「寝起きだからね、おこな」まだ硬いかも、ナニカ  
ぐらぐら叫びしりへへへ はあへ あああへ」

ナシキ 1088 「ナニカ 雑魚マノ世ギトヘ、ぐらゆぐりをうへへ  
朝立わかでぬへ こひまごへれへ あへ」

「じいちゃん優しくピーストーンしながら会話。

### 《◆正面/10cm 瞬きの合図》

ナツキ 1089 「はあ、んひ、あい、はひ、ああ♪」

ナツキ 1090 「んー? お前も見たの? ハツチな夢♪」

### 《◆正面/10cm ピーストーンをながら、甘いキス》

ナツキ 1091 「ん、ちゅ♪ れる、ちゅ、ちゅ♪」

ナツキ 1092 「アタシが二人? マジ♪ あはは♪」

ナツキ 1093 「わわ♪ 相手出来た? 一人とも」

ナツキ 1094 「れるちゅつちゅ♪」

ナツキ 1095 「くす♪ 疲れた? くすぐす♪」

ナツキ 1096 「ぐうすり寝たのに疲れるとか大変だな♪

」「うぬ? こ♪ めめーつてしてやる♪」

### 《◆右耳/0cm 抱き合団》

ナツキ 1097 「は、お、おお♪」

ナツキ 1098 「アタシ? んー同じ感じかなあ♪」

ナツキ 1099 「夢の中のお前も、イケメンだった♪ はあ♪」

ナツキ 1100 「あは、焼きもちか? どんな焼きもちだよお♪」

ナツキ 1101 「(黙) そひ、んひ、ふう……夢に出てきたまつべり

い……すいとお前の「」ヒ、想いつてゆつて「」ヒだぜ~。  
叫わせんなばーか……♪」

ピーストーン少し叫く、強くなる。

ナシキ 1102 「あひ、あひ、せあ、んひ、せあ♪」

ナシキ 1103 「せふへ、観美ちゃんは好き♪、熱いちゃんは好き♪、  
ん、おねへ」

ナシキ 1104 「轟く中でも、お前のからせに、このまま真土も一  
たへ、！」おんなめふへ♪」

ナシキ 1105 「嬪ひるへ、ほぞー！」嬪ひるかわあへ、詣しりへ  
あ、イク、イグ♪」

ナシキ 1106 「ね、おおお、すみません、イク♪、せくひへ♪」

#### ◆凹面/10cm

ナシキ 1107 「さあはあへ、坂井ちこいかへ、ぐちよぐちよへ。」

ナシキ 1108 「くくへ、うれ、マジドー田口シチでさかへ、おひへ  
あらへ、イケメンかわせすかへ、おおおへ」

ナシキ 1109 「いきへ、セーフせしこへ、観美セーし、このままで  
欲しこじかへ、あ、あへ」

#### ◆凹面/0cm サベ

ナシキ 1110 「れわれわれわる、ん、ん、ん、れわれわる、ん、ん、  
れわわわ、ん、ん、ん、ん」

ナシキ 1111 「せあひ、三浦せんの？（笑）それ、ゼットで  
回し！」ふしだらへ、あ、ああん分かつたからおへ」

ナシキ 1112 「せあせあへ、……中止♪、つてせしこ、こやねへ」

スパート。キスしたまま絶頂へ。

ナツキ 1113 「ん、んん♪ れるれるちゅ♪ んばかあ♪ れる  
れるれる、ん、ん♪ れるれるれる♪ んい、れる  
れる♪ んんお♪ イク♪ ちんぽに媚びます♪  
れるれる♪ めつちや吹く♪ 負け汁吹き出す♪  
「めんなさ、イキます♪ イクイクイク♪  
ん、ん、ん♪ イッグうつう♪」

絶頂。幸せ低音アクメ。

ナツキ 1114 「んんん♪ んつ、んつ、んん♪ れるちゅ♪  
んん♪ れるれる、れえるれる、ちゅう♪ はあ、  
れる、れるれえる、れる、ちゅうちゅう♪ ふう……  
れる、れる……れえる、ちゅ……ちゅうちゅ……はあ、  
ちゅう……んちゅ、ちゅう……ん……ちゅう……」

#### 《◆正面/10cm》

ナツキ 1115 「せあ、せあ……ん、ん♪」

ナツキ 1116 「……むつむつ パーマ」

(夢で見たやつだ……)

ナツキ 1117 「ん、エレした?」

なんでも……。

ナツキ 1118 「なんでもねーわけねーだろ♪ むー♪」

#### 《◆正面/0cm》

ナツキ 1119 「んふ♪ ちゅ、んちゅ、れる、ちゅう♪ はあ、  
ちゅ、んちゅうちゅう♪」

《正恒/10cm》

- 2 - 1100

「あああ  
三三三  
」

ナシナ 1121

「でも……飯も食いてーなあ」

主人公、右手でスマホいじる。

◆左斜め前/10cm》

ナニキ1122 「え、丑寅? やつたあん、食費浮いたわ」

ナツキ、下から軽く腰を動かす。

ナツキ 1123

「や、ちゃんと叢えたるやだし。入れたまま、醤油で、  
えい、かん詰もぐもぐソルベ……。せね？」

ナシキ 1125 「あー、寿司がいい♪」

ナシキ 1126 「ナシキハセー、スンガセヒー、ソリナーナハセー……  
お、おお、お……大ナロお……、スルくく」

「あと一、寒いから早く抱け♪」

◆左耳/0cm 抱かれてじっくりピストン

ナニヰ1128 「え、ええ、うう、まあ、えええ」

ナラギ1129 「エスベニアで醒めた。」

ナツキ1130 「三十六へ。くく、あと一回くるよ、出来そうだな。

は  
お  
♪

調子に乗った発言に自分でじわじわくる。

ナツキ1131 「ん、んふ、くすくす。お互い」んな状態なのに、

一回じや落まねーか♪  
あはは♪

「（囁き）じゃあさ……お寿司が届くまで、何回イけるか、やってみる？..」

ナシヰ 1133 「(豊か) ここや。アタシも、イヤ我慢してやる  
や。」

ナシヰ 1134 「……かかるやうだ。」

わやくシンドが離れたせつがいじかむ。

(耳にさう少し離れたせつがいじかむ)

ナシヰ 1135 「おへ、おおお、イキよした、 もイキよした、  
お、待つて、やいせだぬ、 これ無理、 かんせ  
無理、三十分無理、 無理です」おこなれこ、  
イク、おたいて、イキよすうし、」

舞せな潮吹きが止まらない。

田舎が廻り出で、まだまだ壁壁はある。

ナシヰ 1136 「おへ、おおおおおお、 ああ、 ああ、 ああ、

好や、 好や、おおおお、 おへ、おへ、おお、 ああ、  
しそや、 ひそや、 おへ、 せお、 ふへ、 おへ、 ぐへ、  
おへ、 おお、 せ、 ぐへ、 おおおおおお、」

(ヒハーットカム)

(ed-END 1552枚目)

## ハコーテーク

- 
- Q. 収録を終えて
- Q. 今回も変化球な設定でしたが、ナシキちゃんを演じてみて如何でしたか？
- Q. キャリやめてもや分岐でやだい、どうなじがつたいですか？
- Q. ナシキちゃんハコーズに向か希望があれば
- Q. 最後になにかいわいおつたい

「収録、お疲れやめどつた。